

未来への報告書[★]
つなげたい想いを、かたちに。

AEON MALL
CSR
REPORT 2018



人がふれあい、笑顔があふれる、「ハピネスモール」をめざして。



イオンモール株式会社
代表取締役社長
吉田 昭夫

当社はイオングループの中核企業として商業施設の開発・運営を担い、2018年2月現在、日本国内、中国、アセアンに195拠点を展開しています。国内では、新規モールの出店と並行して、既存モールにおける増床や大規模なリニューアルに力を入れ、お客さまの新たなニーズにお応えし続けています。また、これからの商業施設は、リアルな体験を通じたふれあいや思い出が生まれるコミュニティの場としての役割も果たすべきであると考え、今年度より全モールで「ハピネスモール」の取り組みを本格化しています。一つひとつのモールが地域の皆さまと心を重ねて、多くの人が集う場だからこそ生み出せる新しい価値を追求してまいります。

中国およびアセアンでは、エリアを厳選して集中的に出店するドミナント戦略によって当社のブランド価値を着実に高めてまいりました。徹底してお客さまの視点に立った施設づくりや、きめ細かい管理・運営が地域の皆さまや専門店から評価され、各地で出店を待ち望む状況が生まれています。さらに、国内のモールと同様に一貫して取り組んできた自然エネルギーの活用、電気自動車普及への対応、緑豊かな環境づくりなども、現地において当社への社会的な信頼を高める要素のひとつになっています。

また、各専門店と当社は従来の枠を越えた密接なパートナーシップを構築し、専門店における従業員の雇用確保、職場環境の向上などについても両方で課題を共有し、積極的な意見交換と迅速な対応で解決を図っています。

本レポートでは、こうした活動を中心に、当社本来の企業活動と不可分な地域・社会・環境に対する取り組みをご紹介します。ぜひご一読いただきますとともに、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

イオングループの中核企業として、
日本全国、アジアでショッピングモールの開発・運営を進めています。

■ 会社概要

社名 イオンモール株式会社
設立 1911年(明治44年) 11月
資本金 42,271百万円(2018年2月末現在)
事業内容 大規模地域開発及びショッピングモール開発と運営 不動産売買・賃貸・仲介[国土交通大臣(2)第7682号]
従業員数 4,653名(2018年2月末現在)

【編集方針】 この報告書は、イオンモール株式会社が果たすべき社会的責任の目標と実績、私たちが携わるまちづくりについてのご報告と今後の課題について記述しています。

【報告書の対象範囲】

対象組織 イオンモール株式会社
イオンモール株式会社に属するグループ企業とその管理する施設が原則となりますが、環境指標については、イオンリテール株式会社から運営受託を受けている70モール、mozo wondercity、神戸ハーバーランドumie、カテプリ、株式会社OPAの商業施設を除きます。
対象期間 2017年3月1日から2018年2月28日
対象期間外の情報に関してはそのつど表記しています。また社員の役職は2018年2月末現在のものです。
発行 2018年5月

■ イオンモールの理念

基本理念

お客さま第一

経営理念

イオンモールは、
地域とともに「暮らしの未来」をつくる
Life Design Developerです。

※Life Designとは…
商業施設の枠組みを越えて、一人ひとりのライフステージを見据えたさまざまな機能拡充を行い、ショッピングだけでなく、人との出会いや文化育成なども含めた“暮らしの未来”をデザインすること。

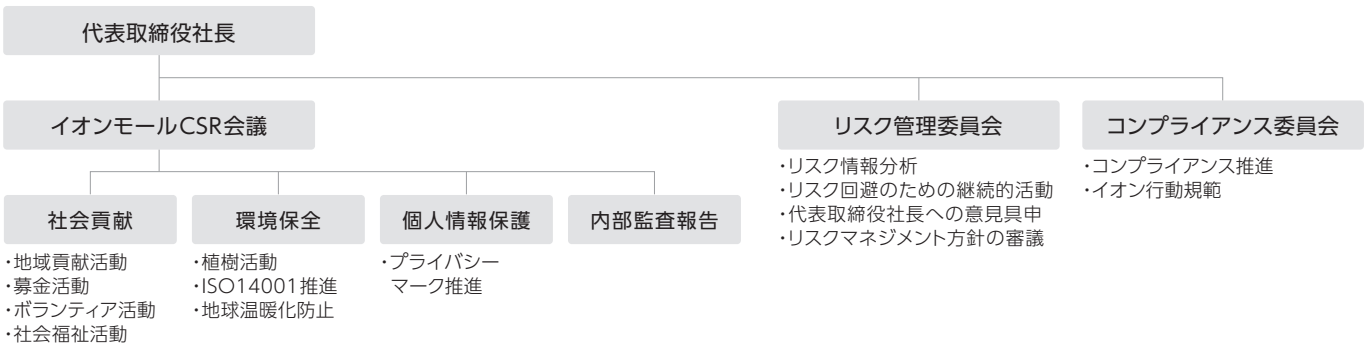
経営ビジョン

アジア50億人の心を動かす企業へ

- 私たちは、パートナーとともに、地域の魅力を磨きつづける究極のローカライズに挑戦します。
- 私たちは、一人ひとりがLife Design Producerとして、商業施設の枠組みを越え、新たな「暮らし」を創造する事業領域を拓き、成長し続けます。
- 私たちは、世界中の拠点をはじめとする全ての資産を活かし、永続的に発展することで、強い財務体質と強固な事業基盤を構築します。
- 私たちは、革新し続けるプロフェッショナル集団です。
- 私たちは、お客さまに徹底して寄り添い、生涯わすれえない思い出となる最良の体験を共有します。

コーポレート・メッセージ

■ CSR推進体制図



2	Top Message	24	地域とともに 継続的な地域社会への貢献
4	会社概要		
6	CSR TOPICS ①海外モール		
8	CSR TOPICS ②国内モール	28	パートナーとの協力 健全で良好なパートナーシップの推進
10	CSR TOPICS ③外部機関による認証・評価	30	社員の職場環境 すべての人が生き活きと働く職場の実現
12	特集1 “ハピネス”を追求するモール	32	モールの安全管理 不断の安全追求から生まれる安心の獲得
18	特集2 国内モールの新たな取り組み	34	環境への配慮 地域から地球へ、環境保全の推進
20	特集3 アセアンからの事例報告	38	コーポレート・ガバナンスに対する取り組み
		39	イオンモール データ集
22	イオンモール CSR 5つの柱	44	2017年度 CSR会計報告
		46	第三者意見

SDGs(Sustainable Development Goals) [持続可能な開発目標]

当社はISO26000に対応するCSR活動を行うとともに、国際社会全体の開発目標として2015年9月の国連サミットで採択された「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された17項目の「持続可能な開発目標」の実現に寄与する企業活動に全社を挙げて取り組んでいます。今年度のCSRレポートは、これらの開発目標に関わる当社の取り組みについて、それぞれのマークを記載してご紹介します。

CSR TOPICS ①海外モール

中国・アセアンでは集中出店によるドミナント形成が

ブランド力の向上につながり、競争力のある事業展開を推進。

エンターテインメント性の高いモールづくりによって新しい体験やライフスタイルをご提案しています。



イオンモール佛山大滘[中国]



イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ[インドネシア]

イオンモール天津津南

【中国・天津市】2017年10月オープン

市内中心部より南東へ約10km、今後ますます人口増加が見込まれるエリアに天津市4号店をオープン。フロアごとにテーマを持った9つのコンセプトゾーンを構成し「みんなが主役になれる場所」をご提案。太陽光発電システムやEV（電気自動車）充電器など、人と環境に配慮したモールづくりにも力を入れています。

イオンモール南通星湖

【中国・江蘇省】2017年12月オープン

南通市に初出店のモールコンセプトは「みんなが集う“近未来”デスティネーションモール」。エリア最大級となるエンターテインメントモールには、全長400mの室内レーシングカート場や7スクリーンのシネマ、約100店舗の飲食店などが揃い、快適でワクワクする空間と新たな体験をお楽しみいただきます。

イオンモール武漢金橋

【中国・湖北省】2017年12月オープン

武漢市の3号店は商業の中心である漢口エリアにオープン。都会的なデザインと緑が融合した心地よい空間に、全体の約4割を占める食の専門店を揃えた地域最大級のフードエンターテインメントをご提供します。

イオンモール佛山大滘

【中国・広東省】2017年12月オープン

「Your New Life」をコンセプトに常住人口約270万人の佛山市南海区にオープン。各階に緑豊かなガーデンテラスを設置するなど、計画的なまちづくりを進める地域にふさわしいモール環境を実現しました。

イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ

【インドネシア】2017年9月オープン

インドネシア2号店は「Smile Of Life」をモールコンセプトにする最新型エンターテインメントモール。屋上には国内最大規模を誇る大観覧車を設置するなど、新たな体験を地域の皆さまにご提供します。

2017年度は国内で5モールが新たにオープンするとともに
既存モールで増床や大規模なリニューアルを実施。
よりいっそう地域の皆さまのニーズに応えるモールへの進化を図りました。

増床・リニューアル

イオンモール甲府昭和 [山梨県]



大型リニューアルで全てが揃うエリアサードプレイスへ

2011年3月にオープンしたイオンモール甲府昭和は、2017年11月に増床棟を含めて全館をリニューアルオープンしました。ご要望の多かったトレンドファッションやライフスタイル提案型専門店を導入し、趣味や余暇を楽しむエリアの展開など、地域の皆さまのあらゆるニーズを満たすサードプレイスへ進化しました。

緑豊かな環境デザインの導入

メインエントランス「ウエルカムゲート」の前にウエルカムガーデンを設置。高さ12mを超えるシンボルツリーを中心に多種多様な木々を配置し、四季の変化を楽しめる空間を提供します。



耐震性能の強化

2011年3月の東日本大震災は、イオンモール甲府昭和がグランドオープンを迎える6日前に発生しました。今回のリニューアルでは、より高い安全性を確保するために耐震基準をさらに高めています。

天井補強改修

天井の落下による被害を軽減するため、従来の吊構造の天井から鉄骨の堅固な下地へ改修を行い、現在の耐震基準を満たす補強を行いました。

エレベーター / エスカレーター耐震改修

エレベーターおよびエスカレーターの安全性を強化するため、新たな耐震基準に対応する補強工事を実施しました。

被災時の復興拠点としての機能確保

非常災害発生時には、新たに館内に設置した150インチ大型デジタルサイネージ端末を緊急テレビ放送に切り替え、お客さまへ速やかに情報を伝達します。

増床・リニューアル

イオンモール宮崎 [宮崎県]

九州最大級のショッピングモールへ進化

2005年5月にオープンしたイオンモール宮崎は、2018年3月に九州最大級のショッピングモールとして生まれ変わりました。敷地南側に増床棟を新設し、既存棟でも大規模なリニューアルを実施。都市型ライフスタイルや、こだわりの食を提供するとともに快適に時を過ごす場を創造し、地域のお客さま、観光に訪れる皆さまにいっそうご満足いただける施設をめざします。

新たな賑わいの場を創出

既存棟と増床棟の間に芝生の中庭空間「hinata TERRACE」を設け、お子さま向けの遊具も設置しました。イベント広場では四季折々の催しをお楽しみいただき、つながりが生まれる賑わいの場をめざします。



健康増進を効果的に支援

館内にウォーキングコースを設置するとともに「健康への気づきを促す空間デザイン」を採用し、歩幅をチェックできる「ステップウォーキング」、屋内階段を楽しく利用できる「クライムウォーキング」、歩行姿勢測定システムによって歩行年齢がわかる「バランスウォーキング」など多彩なプログラムをご用意。さらに宮崎県公式ウォーキングスマートフォンアプリ「SALKO (サルコー)」とも連携し、気軽に健康づくりができる環境を整えています。

新規オープン

イオンモール新小松 [石川県] 2017年3月オープン

北陸の空の玄関口・小松空港の近くに「笑顔あふれる“元気モール”」をコンセプトにオープン。九谷焼や地元の農産物など、地域の魅力を広く発信しています。

イオンモール徳島 [徳島県] 2017年4月オープン

徳島県初となるイオンモールのコンセプトは「“ひかりまち”ベイフロント」。モノとコトと多彩なコンテンツが融合する新しいまちが誕生しました。



イオンSENRITO 専門館 [大阪府] 2017年4月オープン

豊中市・千里中央駅前の「SENRITOよみうり」商業Ⅱ期部分の1～4階を当社がマスターリース。便利で快適なショッピング環境を提供しています。

イオンモール神戸南 [兵庫県] 2017年6月オープン

神戸市中央卸売市場に隣接するモールのコンセプトは「ハッピーをめしあがれ!」。多彩な食の体験を中心に、地域と一体となって新たな賑わいを創出しています。

イオンモール松本 [長野県] 2017年9月オープン

アルプスの観光都市・松本の回遊拠点としてオープン。風情ある街並みに調和するデザインを採用し、文化や歴史を感じられる施設づくりに取り組みました。

当社は「人と環境に配慮したモールづくり」をめざし、ハード/ソフトの両面から先進的な取り組みを導入してまいりました。本年度も、国内・海外の各機関から高い評価をいただいています。



イオンモールKYOTO

外部認証の取得

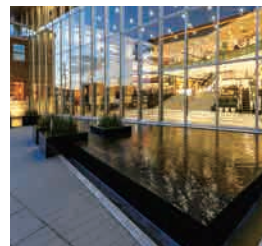
2モールが「DBJ Green Building 認証」を取得

2018年1月、イオンモールKYOTO（京都府）とイオンモール水戸内原（茨城県）が日本政策投資銀行よりDBJ Green Building 認証を取得しました。この認証は、対象物件の環境性能に加え、当該物件を取り巻くさまざまなステークホルダーからの社会的要請への配慮などを含めた総合評価システムに基づき、環境・社会への配慮がなされた不動産を評価するもので、いずれのモールも国内トップクラスの評価ランクを示す5つ星に認証されています。



「いきもの共生事業所®」認証取得モールの拡大

2017年9月にオープンしたイオンモール松本（長野県）は、2018年3月に「いきもの共生事業所®」認証を取得しました。この認証は一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）が作成・登録した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、生物多様性に配慮した緑地づくりなどの取り組みを「いきもの共生事業推進協議会」が第三者的に評価・認証するものです。イオンモールでは7例目の認証取得となります。



「WELL認証」適合性事前検証を2施設で実施

イオンモール幕張新都心（千葉県）とイオンモール名古屋茶屋（愛知県）の「イオンゆめみらい保育園 名古屋茶屋」の2施設において、「WELL Building Standard（WELL認証）」の適合性事前検証を国内商業施設としていち早く実施しました。WELL認証とは、米国で開発された人間の健康と快適性の評価に特化した世界初の建物認証システムで、室内における人間と空間の関係の中で7つのカテゴリーで評価されるものです。

外部からの評価

GRESBリアルエスティート評価の最高位「Green Star」を取得

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク（GRESB）とは、不動産ポートフォリオやインフラなどを含む実物資産の環境・社会・ガバナンス配慮を測る国際的なベンチマークです。当社は、環境配慮やサステナビリティに関する取り組みについて「マネジメントと方針」および「実行と計測」の両面において優れていると高く評価され、4ランクで最高位の「Green Star」評価を獲得。過去最高の80点（参加企業の平均スコア63点）を取得しました。総合スコアでの相対評価によるGRESBレーティングでも最上位の「5スター」評価を獲得しています。



ESG投資のための株価指数構成銘柄に選定

財務情報のみならず、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）への取り組み（非財務情報）で企業の価値を測り投資判断の材料とする「ESG投資」。この投資手法が急速に拡大する中で、当社は機関投資家向けに投資情報を提供する機関がESG評価に優れた企業を選別して算出する各種指数の構成銘柄に選定されています。

- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数（WIN）
- SNAMサステナビリティ・インデックス
- モーニングスター社会的責任投資株価指数（MS-SRI）
- なでしこ銘柄2018（2年連続/不動産業で唯一の選出）



温暖化防止の取り組みに対する自治体からの評価

当社は空調の省エネルギーシステムやLED照明の導入などにより温室効果ガスの排出量削減に積極的に取り組み、確かな実績を上げています。2017年には京都市および大阪府から優良事業者として表彰いただきました。

- 「京都市事業者排出量削減計画書制度」特別優良事業者

京都市内の3モールにおいて温室効果ガスの削減率（総量ベース）13.5%（平成25年度比）を達成し、総合評価「S評価」の特別優良事業者に認定されました。

- 「おおさかストップ温暖化賞」優秀賞

大阪府内の6モールで温室効果ガスの削減率（原単位ベース）8.3%（平成27年度比）を記録し、3年連続で優秀賞として表彰されました。

環境課題の解決

二国間クレジット制度（JCM）の設備補助事業に参画

優れた低炭素技術などの普及を通じ、他国と協力して温室効果ガスの削減に取り組むことで削減の成果を両国で分け合う「二国間クレジット制度」。2017年9月にオープンしたイオンモール ジャカルタ ガーデンシティ（インドネシア）では、年間約550トンのCO₂削減をめざして屋上に507kWの太陽電池モジュール、地上に110kWhの蓄電池設備を設置。環境省の平成26年度JCM設備補助事業に採択されています。

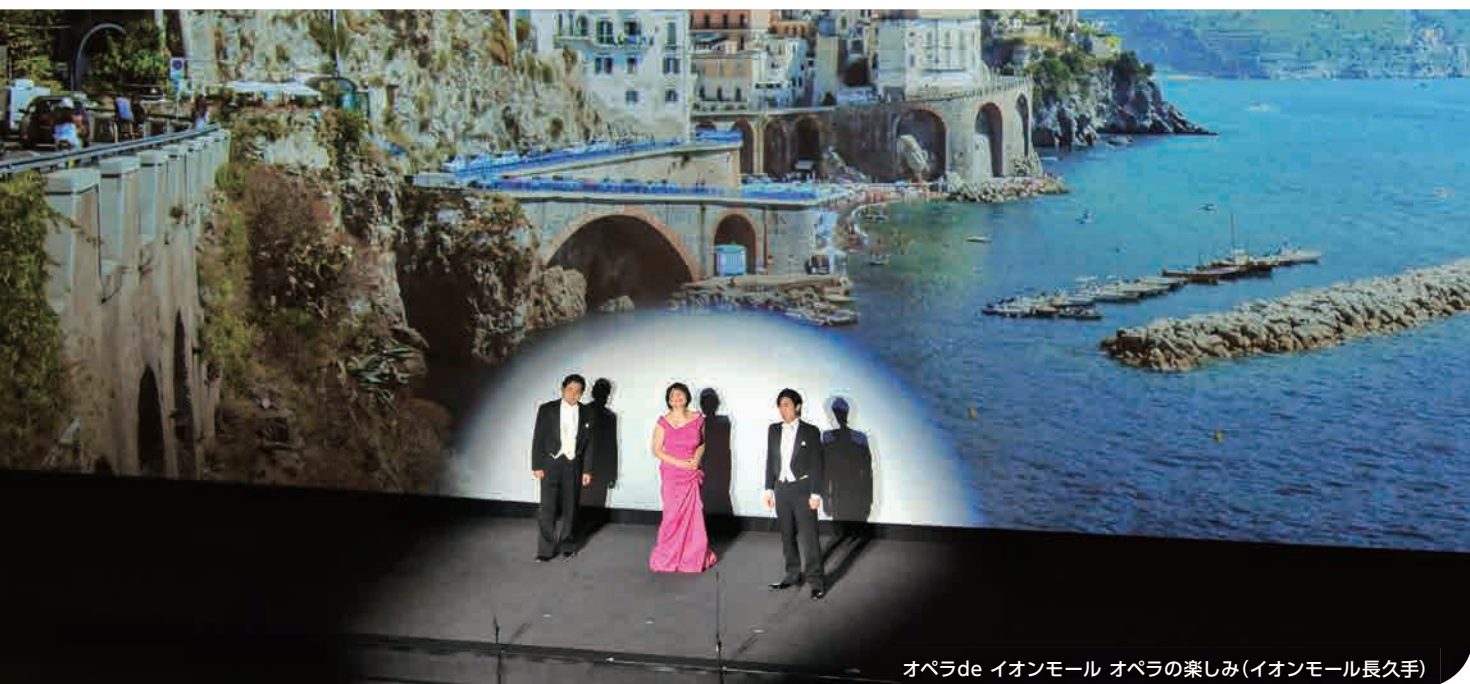


特集1

“ハピネス”を追求するモール

①「ハピネスモール」の取り組み

国内モールの新たな試み



オペラde イオンモール オペラの楽しみ(イオンモール長久手)

人生の素敵な思い出をつくる場所へ

イオンモールは
ハピネスモールへ

Health
ココロとカラダを、
楽しく元気に

Wellness
感動と癒しが、
広がる空間に

Community
地域の笑顔が、
あふれる場に

Opportunity
豊かな暮らしのための
商品・サービス体験機会を

お客さまがご来店されるときはいつもワクワクして、かならず笑顔でお帰りになる—私たちが「ハピネスモール」として想い描いているのは、そんな商業施設の姿です。Eコマースも台頭する中で、イオンモールに足を運んでいただくたびに実体験として素敵な思い出を積み重ね、お客さま一人ひとりの心の中でモールを大切な場所にしていただきたい。こうした願いを込めて、2017年度から本格的にハピネスモールの活動を開始しています。

従来より各モールではお客さまにお楽しみいただけるさまざまな企画を実践してまいりましたが、ハピネスモールでは「ヘルス」「ウエルネス」「コミュニティ」「オポチュニティ」という4つの柱を掲げ、すべての専門店、従業員が一体となって、お客さまがモールで過ごすあらゆる時間や体験にハピネスを感じていた

だけよう、さらに総合的な取り組みへの進化を図っています。特に昨今はお客さまの健康への関心が高く、精神的な充足に対するニーズも増えていることから、各モールでは館内の広いスペースやホールを活用して多彩なイベントを開催するほか、地域の皆さまが交流を深めたり、専門店と連携したワークショップで趣味の世界を広げたりする機会をご提供しています。地域や行政の皆さま、さらに従業員も含めたイオンモールに関わるすべての人が幸福になる真のハピネスモールをめざして、全社を挙げて取り組んでいます。

営業本部 マーケティング統括部長
檜山 護



■『ハピネスモール』モデル店舗

「しあわせ時間」を追求する新モールが誕生

イオンモール松本[長野県] 2017年9月オープン

豊かな自然と文化を育み、岳都・学都・楽都の「三ガク都」と呼ばれる長野県松本市。その中心市街地の一角にオープンしたイオンモール松本は、「信州のまん中で、しあわせ時間。」をモールコンセプトに掲げ、ハピネスモールへの取り組みを積極的に推進し、個性と賑わいにあふれた交流空間をめざしています。



Wellness 「楽都・まつもとライブ」の開催

松本市と市民の有志が協力し、従来は松本駅前広場などで開催していた「楽都・まつもとライブ」を、モール内のイベントスペース「きらめきコート」で定期的開催。地域にゆかりのあるアーティストが出演し、幅広い世代のお客さまに気軽に多彩なジャンルの生演奏をお楽しみいただいています。

ストリートライブをイオンモールで実施すればたくさんの人に耳を傾けていただけたと考えました。さまざまなジャンルの音楽を楽しむ機会になるといいですね。

松本市 文化スポーツ部
国際音楽祭推進課 主事
深澤 正則様



モールでゆっくり過ごすお客さまを前に屋内で演奏できるのは、出演者にとってたいへん恵まれた環境です。これからもご協力いただければと思います。

楽都・まつもとプロデュース
チーム リーダー
宮嶋 弘樹様



木管パートの仲間たちと初めてここで演奏しましたが、お客さまとの距離が近くて反応がわかりやすいですね。ぜひ継続して実施していただきたいと思います。

松本交響楽団
丸山 修二様



Health

モールウォーキングイベントの開催



健康寿命延伸都市をめざす松本市が立ち上げた「松本ヘルス・ラボ」から講師を招いて毎週モールウォーキングイベントを実施。スタンプラリー形式で参加を継続するモチベーションを喚起しています。

Community

子育て支援イベント



地域の子育て応援マガジン「イクジィ」とタイアップし、育児のノウハウを学べるセミナー形式のイベントや料理教室などを開催。参加したお母さまたちが知り合い、交流を広げる場にもなっています。

Opportunity

「ハーバリウム」ワークショップ



モール内の専門店「はなぐらす」の主催で、ドライフラワーやプリザーブドフラワーを保存液に浸してインテリアとして楽しむハーバリウムをお客さまに体験いただき、作品をお持ち帰りいただきました。

特集1

“ハピネス”を追求するモール

①「ハピネスモール」の取り組み

国内モールの新たな試み

Health

日々の健康習慣に貢献し、健康的な身体づくりをサポートします。



ヨガ教室

Wellness

くらしを豊かにする文化・芸術体験を通して、癒しや感動を提供します。



イオンモール落語

Community

地域に欠かせない生活拠点として、人々が集い、つながる場となります。



全国こども将棋王決定戦

Opportunity

ライフスタイルをより豊かにするための機会やヒントをご提案します。



目のひみつを知ろう～見る育ワークショップ～

新感覚ヨガ「サップヨガ」体験イベント

全国各地でヨガ教室を開催しており、定期的な教室だけでなく、普段なかなか体験することができない「サップヨガ」などの体験イベントも積極的に実施しています。

イオンモールウォーキング

健康づくり目的に敷地内や館内を歩く「イオンモールウォーキング」を140以上のモールで実施しています。専用のコースを設定して距離や消費カロリーを表示するとともに、定期的に歩き方のレッスンなどを開催。季節や天候を問わずに運動ができると好評です。



かけっこ教室

日本ランニング協会および「スポーツオーソリティ」と連携した「かけっこアタック」を複数のモールで開催。お子さまに「走るのが楽しい」と思ってもらいたくためのサポートを行いました。



イオンモール落語

桂福團治師匠一門による手話落語や古典落語をお楽しみいただけるイベントを2013年から継続して実施。2017年度は全国の31モールで開催しました。

オペラ鑑賞会

イオンモール長久手・イオンモール常滑(いずれも愛知県)では、館内のシネマコンプレックスを活用してオペラの鑑賞会を実施。臨場感のある映像とともに本格的なオペラを身近に感じていただきました。



プレミアムライブ&ビューティー Fes

イオンモール岡崎(愛知県)では、ジャズバンドのライブと専門店の協力によるビューティー体験を組み合わせた女性向けのイベントを開催。70名以上のお客さまに癒しのひとときを提供しました。



全国こども将棋王決定戦

将棋駒の産地として知られる山形県天童市のイオンモール天童では「第1回イオンモール天童杯争奪 全国こども将棋王決定戦」を開催。全国から招待された推薦選手と天童市選抜選手が腕を競いました。(共催:公益財団法人イオンワンパーセントクラブ)

全館で地産地消を推進

イオンモール新小松(石川県)では、健康と元気をテーマにしたキャンペーンの一環として、各飲食店が地元産の小松トマトを使ったオリジナルメニューを開発し、地産地消を推進しました。



地域PRイベント

イオンモール日の出(東京都)では、近隣の8市町村と協力して、地域の魅力を詰め込んだPRイベント「発見! 西多摩手箱」を開催。西多摩地域の豊かな自然環境の魅力を伝え、行政を含めた地域の皆さまの交流拠点となりました。



目のひみつを知ろう～見る育ワークショップ～

イオンモール千葉ニュータウン(千葉県)およびイオンモールむさし村山(東京都)において、株式会社ジンズ、学研キッズネットとの共同企画で、目の仕組みや目に良いことを楽しく学ぶ「目のひみつを知ろう～見る育ワークショップ～」を小学生向けに開催しました。ものが見える仕組みや視力・近視のメカニズムなどを解説するほか、3Dメガネの工作体験などを実施しました。

ギフトのご提案を強化

全国のイオンモールで、「Present, More!」をテーマに年間を通じてイベントに合わせたギフトのご提案を強化。クリスマス期間は、「想いを贈ろうクリスマス特設サイト」を立ち上げ、各クリスマスギフトを通じて素敵なお買い物体験をご提供しました。



特集1

“ハピネス”を追求するモール

②働く人も幸せな職場環境のために

専門店とのパートナーシップ



従業員用休憩スペース(イオンモール長久手)

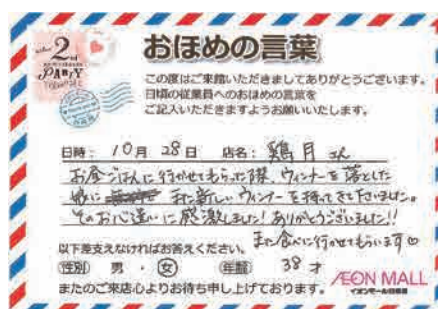
採用難や離職率の上昇など、人材不足が社会的な問題となっている今、長く活躍できる職場環境を整えることでイオンモールにご出店いただいている専門店スタッフのES(従業員満足度)向上をめざしています。

ベストプラクティス「ES部門」の設立

当社では従来より各モールの独創的な取り組みを「ベストプラクティス」として表彰して水平展開を図っています。2017年度に新設した「ES部門」では、専門店従業員の職場環境改善につながる取り組みとして、以下2モールの事例を選出しました。

「おほめの言葉」を募集

イオンモール四條畷(大阪府)では、「接客業をしていてよかった」と思えることがモチベーションの向上につながると考え、お客さまから専門店への「おほめの言葉」を館内で募集。10日間で94通の温かいメッセージが集まり、スタッフの皆さまにたいへん喜んでいただけました。



閉店後の作業負担を軽減

イオンモール岡崎(愛知県)では、閉店後に従業員が速やかに退店できるよう、入金機の増設、荷物用エレベーターの開放、バス時刻表の配布、さらに飲食店の厨房清掃をモールに委託できる態勢を整えています。

ダイバーシティ推進部会より

専門店とイオングループ各社の関連部署で組織される「ダイバーシティ推進部会」は、定期的に部会を開催し、実際に施設で働く専門店スタッフの声を取り入れた働きやすい職場環境づくりを推進しています。ベストプラクティス「ES部門」の選考には、ダイバーシティ推進部会の委員の皆さまにも審査員としてご参加いただきました。

2018年2月の部会にて
(右から2人目は当社常務取締役 営業本部長 三嶋 章男)



お客さまのためにもESを重視

約2年前から委員代表としてダイバーシティ推進部会に参加して率直な議論を重ねてきました。いま専門店が抱える最大の問題は人材不足です。従業員が職場に満足して、仕事に誇りを持つことにより、お客さまも気持ちよく過ごせますので、ESの向上は大切です。みなさんがやりがいを感じて

自分らしく働き続けられるように、女性の視点も交えて提案を続けていきたいと思っています。

株式会社ハピネス・アンド・ディ
取締役副社長 井上 知恵子様



「ひとつになって」取り組む

四條畷の事例は、お客さまからの感謝の言葉を見える化し、接客業の喜びを共有している点が素晴らしいと思いました。岡崎は従業員の声から問題を抽出し、スピーディに改善している点を評価しました。各モールごとに課題やできることは異なるとは思いますが、モールの全スタッフが協力し、「ひとつになって」取り組んでいくことの大切さが広く伝わっていくといいですね。

セイハネットワーク株式会社
常務取締役 坂口 真一様



店舗を越えたチームワーク

応募事例の中に、モール従業員と各専門店の従業員が垣根を越えてフットサルや英会話などの「部活」をしているという報告がありました。専門店の従業員は「友人や同僚と休みが合わない」といった孤独感に苛まれがちですが、実はモールの中にたくさんの仲間がいます。さまざまな業種の方が集まって館の中に一体感が生まれれば、さらに活き活きと働ける環境になると思います。

株式会社 盛田
代表取締役社長 盛田 明様



出勤日数に応じたWAONポイントの付与を開始

ESの取り組みの一つとして、専門店の従業員に対して出勤日数に応じたWAONポイントの付与(出勤1日につき1WAONポイント)を2017年5月より段階的に23モールで開始しました。経済価値を実感していただける従業員特典として好評をいただいています。今後さらに導入モールを増やしてまいります。



特集2

国内モールの新たな取り組み

地域創生に寄与する商業施設をめざして

THE OUTLETS HIROSHIMA [広島県] / イオンモール常滑 [愛知県]



地域に根ざし、地域の魅力を発信するアウトレットモールへ

THE OUTLETS HIROSHIMA [広島県] 2018年4月オープン

選りすぐりのショップが揃う本格アウトレット、上質なエンターテインメントに加えて、その場所だからこそ出会いを創生する地域創生型商業施設「THE OUTLETS (ジ アウトレット)」の1号店が広島市佐伯区にオープンしました。

「暮らし」や「こと」のスタイル提案ゾーン「なみのわガレージ」では、瀬戸内・山陰エリアの企業やクリエイターが手掛けた雑貨を集め、ものづくりの文化や醍醐味までも肌で感じることが出来ます。また、食物販編集集型ゾーン「よりみちマルシェ」には地元の新鮮な食材や銘店の甘味が揃い、観光客の方々のご要望にお応えするとともに、地元の皆さまにもエリアの魅力を再発見していただけます。

さらに、24市町で構成する広島広域都市圏の情報発信拠点「V BASE」のブースで圏域の特産品などの商品紹介や観光情報などを発信するほか、館内の大型LEDビジョンで地域伝統文化「神楽」を取り入れた演出を行うなど、さまざまな角度から地域の活性化や魅力の向上に取り組んでまいります。



よりみちマルシェ



なみのわガレージ



にしかぜデザイナー



ほしかげシティ

空港、市街地と一体となり、エリア全体の活性化に貢献

イオンモール常滑 [愛知県] 2015年12月オープン

イオンモール常滑は、オープン当初から中部国際空港、常滑市、常滑商工会議所などと共同で、知多半島全体の活性化を目的とした「CHITA CATプロジェクト」を推進しています。

空港とイオンモールを無料のシャトルバスで結ぶとともに、年間約800万人のお客さまをお迎えするモールの館内で常滑市街地、知多半島の魅力をアピールすることでエリア全体の消費機会創出をめざしています。規模や業種を問わずに多くの商店や施設が参加しやすい仕組みをつくったことにより半島全体でさまざまな企画が発案・実行され、市街地では体験型のおもてなしツアーが海外からのお客さまの人気を集めるなど、減少傾向にあった観光客数が増加に転じました。

本プロジェクトはグローバルな地域活性化の先進事例として広く注目を集め、愛知県知事の推薦をいただいて「第7回 まちづくり法人国土交通大臣表彰」にエントリーしています。



中部国際空港の無料シャトルバスのりば



地域回遊企画「ラッキーキャットプレゼント」のパンフレット



空港到着ロビーでエリア回遊クーポンを配布



観光ガイドの案内で市内を周遊するおもてなしツアー

特集3

アセアンからの事例報告

地域との連携を深める海外モール

イオンモールBSD CITY [インドネシア]



政府と連携して産直オーガニック野菜・果物マルシェイベント「Farm to Table」を開催

インドネシア1号店として2015年にオープンしたイオンモールBSD CITY（バンテン州タンゲラン県）は、地域の文化交流や情報発信のプラットフォームとしての役割を積極的に果たしています。

2017年10月に開催した「Farm to Table」では、インドネシア農業省のご協力を得て、都会では入手が難しくなった希少な

オーガニック野菜、果物などをマルシェ形式で生産者からお客さまへ直接販売しました。お客さまから好評をいただくとともに、このイベントをきっかけに小売業者との新たな商談が成立するなど、流通チャネルの拡大にも貢献。記者会見には農業省大臣代理やオーガニック協会会長にもご臨席いただき、今後も定期的に開催したいというお言葉をいただきました。

伝統舞踊コンテスト



色彩豊かな民族衣装をまとった近隣の幼稚園や小学校のお子さまが、練習してきた伝統舞踊の成果を披露。地域で育まれてきた文化の継承にも貢献しました。

折り紙探しイベント



和の文化を象徴する「Origami」で折った動物をお子さまに探して集めていただくイベント。日本のモールとしての存在感を地域のお客さまに印象づけました。

孤児院への寄付



イスラム教の断食月明けに近隣の孤児院から100名のお子さまをご招待。モール従業員との食事会をお楽しみいただくとともに、寄付金の贈呈を行いました。

全館を挙げて環境・安全への配慮を徹底



モールから排出される水は、バクテリアを利用した浄化槽設備で処理したうえで川に流しています。毎月1回の水質検査を実施し、日本より厳しいとも言われる現地の排水基準をクリアしていることを確認しています。

どの国でも地域とのつながりなくして私たちのビジネスは成り立ちません。気候風土や、イスラム教をはじめとした宗教の多様性、また地域性を考慮して、ご来店の動機となる多彩な企画を立案・実践しています。また共同販促にもチャレンジし、来館人数は前年比で約7%増加。モールの体験価値を高め、競合との差別化を進めています。加えて、入館時の車両・手荷物チェッ

2億5千万人以上の人口を抱え、平均年齢が20代のインドネシアはアセアンの中でもきわめて重要な拠点で、首都ジャカルタ近郊において積極的にドミナント戦略を推進しています。これまで出店した2モールは、当社と専門店が一体となった丁寧なモール運営に加え、広い駐車場やバリアフリーの施設、多彩な飲食店の集積などで幅広いお客さまからご支持をいただい



消防署と合同で実施した大規模な火災避難訓練には専門店、パートナー企業の従業員、警備員などを含めて1,656名が参加。実際に火災が起きたことを想定し、指揮命令系統の確認、避難誘導、負傷者搬出などの訓練を実施しました。

クやマニュアルの整備など、テロ・災害など不測の事態に対応できる体制づくりにも取り組み、楽しく、安全・安心で、快適なモール環境づくりに取り組んでいます。

イオンモールBSD CITY
ゼネラルマネージャー
三野 剛



います。環境面でも現地の商業施設に先駆けた設備やシステムを導入し、こうしたイオンモールの価値観を継承するローカルスタッフの育成にも力を入れています。

PT AEON MALL INDONESIA(現地法人)
President Director
磯部 大將



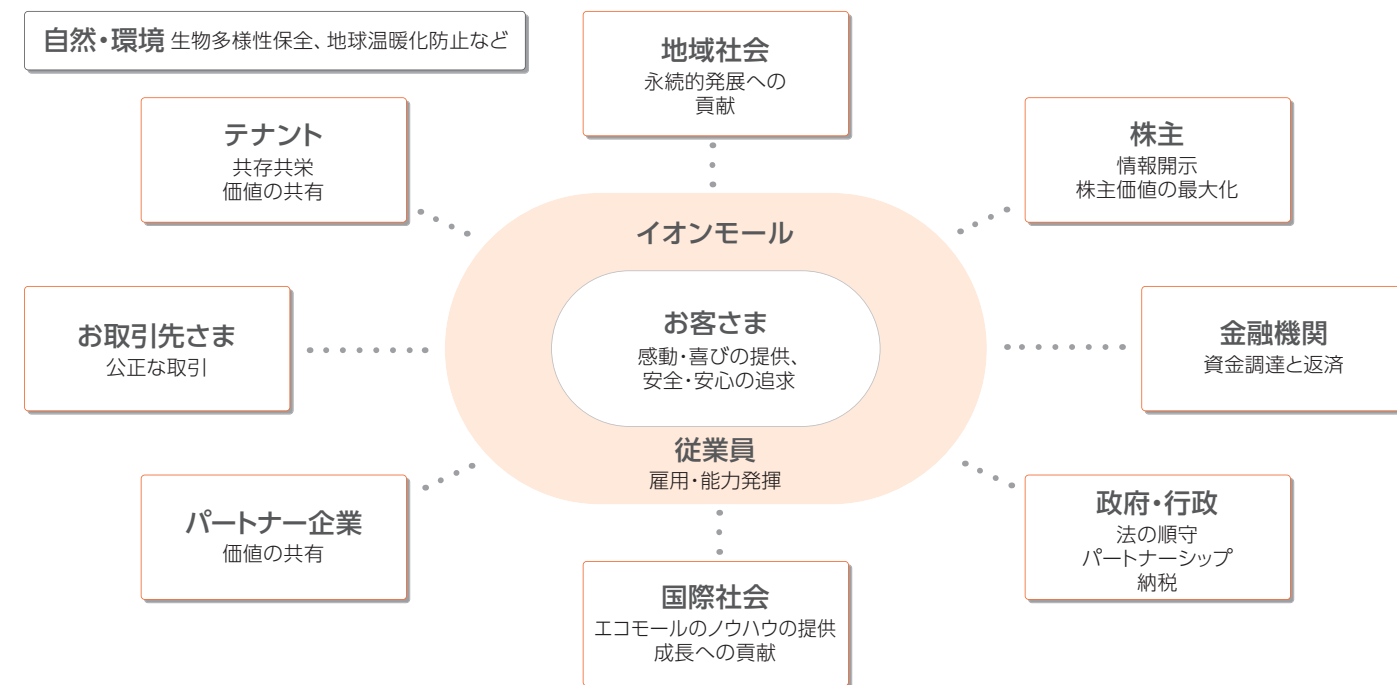
中国の最新モールにおける取り組み

中国では企業や市民の環境意識が急速に高まっており、当社が従来より取り組んできた環境負荷低減の取り組みが注目を集めています。2017年にオープンした4モールでは植樹祭にそれぞれ500名から600名のお客さまが参加したほか、電気自動車のさらなる普及を見据えて計155台のEV充電器を設置しています。



私たちの仕事は、ショッピングモールを通して、地域とともに「暮らしの未来」をつくること。

■ イオンモールのステークホルダー



当社では本来の企業活動とCSRが密接にかかわっており、

地域社会との確かな信頼関係づくり、環境への配慮、安全性のさらなる向上など、

あらゆる部署の従業員が日常の業務を通して社会への責任を果たすことが求められています。

このような考えから、当社では社会的責任に関する初めての国際規格であるISO26000をふまえて、

5つの柱をベースにCSR活動を推し進めています。

■ ISO26000が定める7つの中核主題

- | | | |
|-----------------|-----------|---------|
| 1.組織統治 | 2.人権 | 3.労働慣行 |
| 4.環境 | 5.公正な事業慣行 | 6.消費者課題 |
| 7.コミュニティ参画および開発 | | |

★★★★★ イオンモール CSR 5つの柱 の構成

ISO26000に
対応する
「5つの柱」をベースに、
社会的責任を
果たしてまいります。

地域とともに

継続的な
地域社会への
貢献

コミュニティ参画
および開発に関連

P24

パートナーとの協力

健全で良好な
パートナーシップの
推進

公正な事業慣行に関連

P28

社員の職場環境

すべての人が
活き活きと働く
職場の実現

組織統治、人権、
労働慣行に関連

P30

モールの安全管理

不断の安全追求から
生まれる
安心の獲得

消費者課題に関連

P32

環境への配慮

地域から地球へ、
環境保全の
推進

環境に関連

P34

継続的な地域社会への貢献

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。



阿波踊りに参加した「イオン連」

期日前投票所を設置

2017年10月に実施された第48回衆議院議員総選挙では、全国31のイオンモールやイオンショッピングセンターに投票所を設置しました(期日前投票所30箇所、当日投票所1箇所)。お客さまに快適な施設環境で投票していただけるのはもちろん、モールで働く従業員にも投票しやすい環境を整えました。



クリーン&グリーン活動

毎月11日のイオンデーには専門店従業員の皆さまにもご協力をいただいて、モール周辺の歩道、公園、植樹帯などの清掃活動を行っています。イオンモール広島祇園(広島県)では、2017年12月に[Asaminami Clean Communication]として安佐南区役所、サンフレッチェ広島と共同で清掃活動を行いました。

イオン 幸せの黄色いレシート

毎月11日は、お買い物の精算時に黄色いレシートを発行。レシートを地域の福祉団体などの名前が書かれた専用BOXに投函していただくと、合計金額の1%と同等の品物をその団体に寄付しています。

伝統行事や祭事の支援

イオンモール徳島(徳島県)では、イオンワンパーセントクラブの支援を得て2017年の阿波踊り期間に地域の有名連を招待して館内で踊りを披露していただいたほか、従業員にアイドルグループSTU48を加えた「イオン連」が市内の演舞場で踊り込みを行いました。

地域の魅力を磨く「究極のローカライズ」

当社が掲げる経営ビジョンのひとつ「究極のローカライズ」を実現すべく、各モールの若手社員やフレックス社員(パートタイマー)から、地域の魅力を発信する独自企画を募っています。3年目を迎えた今回は、全国から寄せられた244案から厳選した12の企画を実施しました。

2017年度「究極のローカライズ」実施企画

■ 新! サッポロオ・レ!	カテプリ[北海道]	■ 巨大本「かかみがはら散歩」	イオンモール各務原[岐阜県]
■ 8月10日(ハット)の日	イオンモール春日部[埼玉県]	■ 第1回 金魚フェス in イオンモール大和郡山	イオンモール大和郡山[奈良県]
■ GO! GO! じてんしゃ王国 埼玉	イオンレイクタウンmori[埼玉県]	■ 和歌山サケ×ジョ フェス	イオンモール和歌山[和歌山県]
■ 発見! 西多摩手箱	イオンモール日の出[東京都]	■ mt・マスクingtrep・de あそび ~イオンモール倉敷にイロドリを~	イオンモール倉敷[岡山県]
■ ~我がまち日野を名作の舞台に~ロケ地パネルキャラバン	イオンモール多摩平の森[東京都]	■ 工都ものづくり祭 ~COOL NIIHAMA~	イオンモール新居浜[愛媛県]
■ Jazzをもっと身近に~Jazzから広がる音楽~	イオンモール岡崎[愛知県]	■ トゥシビー WEEK	イオンモール沖縄ライカム[沖縄県]

工都ものづくり祭^{フェス} ~ COOL NIIHAMA ~ イオンモール新居浜(愛媛県)

工業都市として日本の産業を支える新居浜市。地元の企業や学生がものづくりの技術力を競う「ものづくりスゴ技対決」や、ものづくり企業で働く方によるファッションショー「ゲンバ男子ON・OFF みてみまShow」など、3日間にわたりステージ発表や体験教室、展示を行い、ものづくりの楽しさをPRしました。



「ものづくりスゴ技対決」の競技内容の提案から携わりました。各企業が優勝をめざして技巧を凝らして製作し、当社も50回の試作を繰り返しました。ものづくりの楽しさが伝わり、各企業のPRや人材確保につながることを期待しています。

萩尾高圧容器株式会社
代表取締役社長
萩尾 広典様



人が多く集まる場所で技術を競うので、小・中学生に新居浜高専を知っていただけるいい機会となりました。学生にとっても、企業の方と交流を深めることで得られるものが多くあり、卒業後の進路を考えるうえでも貴重な経験になりました。

新居浜工業高等専門学校
環境材料工学科
志賀 信哉 教授



イオンモールさんを会場としたことで、ふだん工業になじみのない市民の皆さまにも面白さを伝えることができました。市政80周年を迎えたものづくりのまち新居浜を、これからも全国にアピールしていきたいと思っています。

新居浜市 経済部
産業振興課 副課長
石川 徹様



入社1年目で、私自身が地域のことを勉強しながら企画を立案しました。不安もありましたが、地元の皆さまに快くご協力いただき、上司や先輩の助けもあってこだわりを形にできました。貴重な経験を今後の自信につなげていきたいです。

イオンモール新居浜
営業担当 長島 実穂





継続的な地域社会への貢献

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。



「世界難民の日」関連イベント(イオンモール幕張新都心)

当社は、社会的な課題の解決をめざす各種の団体とパートナーシップを構築し、長年にわたって全国各地のモールで継続的な活動支援を行っています。

難民救助活動を支援 国連UNHCR協会

世界約130カ国で活動するUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の公式支援窓口、国連UNHCR協会への協力として、モール館内でお客さまに対して活動紹介や支援の呼びかけを行っていただくスペースを無償提供しています。2017年7月には、振付演出家の南流石さんが中東ヨルダンでシリア難民の方々を行ったダンスワークショップをイオンモール幕張新都心(千葉県)で再現するイベントに協力しました。



献血活動への協力 日本赤十字社

全国のモールで献血会場を提供し、2017年度は全国で約149,000名の方にご協力をいただきました。1993年の開店から献血者数がのべ88,000名となったイオンモール秋田(秋田県)は、2017年7月に「第53回献血運動推進全国大会」で日本赤十字社銀色有功賞を受賞。12月には30のモールで学生献血推進ボランティアが主体となり、献血を呼びかけました。



世界の子どもたちを支援 日本ユニセフ協会

子どもの命と権利を守るために世界中で活動するユニセフ(国連児童基金)と協力協定を結び日本ユニセフ協会への支援を2010年から継続して行っています。2017年には18モールで募金プログラムへの参加を募るためのスペースを提供しました。



障がい者団体の利用を積極的に受け入れ

親子3世代で楽しめる仕事体験テーマパーク「カンドゥー」をイオンモール幕張新都心(千葉県)で運営する当社100%出資子会社のイオンモール キッズドリーム合同会社では、特別支援学校や特別支援学級など、障がいのあるお子さまの団体を積極的に受け入れており、県内外から毎月2〜3団体程度のご利用をいただいています。



施設全体が見渡せて車椅子でも動きやすく、スタッフの方も自然に寄り添ってくださるのがいいですね。去年連れてきた児童がたいへん喜んでいたので継続して利用しています。子どもたちが将来のことを考えたり、街で見かける大人たちのいろいろな仕事に興味を持ったりするきっかけになっています。

川崎市立小田小学校 前田 三枝先生(左)
川崎市立大島小学校 佐藤 幸子先生(右)



障がい者を団体で受け入れる施設はまだ少ないようですが、私たちは「心配なさらず、どうぞ安心していらしてください」とお伝えしています。先日は特別支援学校全体の230名のお子さまを一度に受け入れて楽しい時間を過ごしていただきました。「ここに来て初めて将来の夢が見つかりました」といった声をいただくと本当に嬉しいですね。

イオンモール キッズドリーム合同会社
営業部 営業企画グループ担当
丸山 浩介



大切なのは、障がいのある方を特別扱いするのではなく、健常者といっしょに楽しく過ごしていただくことです。さまざまなお子さまがいるので、一人ひとりの様子を見てスタッフが臨機応変に対応しています。仕事体験をご提供いただくスポンサー企業からも「私たちの想いをお客さまに届けている」とご賛同をいただいています。

イオンモール キッズドリーム合同会社
代表職務執行者 社長
伴井 明子



東松島市への復興支援を継続

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県東松島市への地域創生活動の支援を2013年から継続して行っています。応急仮設住宅で生まれたソックモンキー「おのくん」の制作や販売を支援するキャラバンイベントを2017年度はイオンモール宮崎(宮崎県)、イオンモール四條畷(大阪府)で開催したほか、全国のモールで材料となる靴下や綿の回収ボックスを設置し、お客さまからのご協力をいただいて寄贈しています。



健全で良好なパートナーシップの推進

私たちはこれからもパートナーと一緒に、普遍的倫理に基づき、さまざまな国の商習慣にも配慮しつつ健全で一層強固な協力関係を築きます。



イオン同友店ロールプレイングコンテスト

専門店との「協働プロジェクト」

当社では、専門店と目標や課題を共有し、密接かつ対等なコミュニケーションを通して成果を出すことをめざす「協働プロジェクト」を推進しています。2017年度に本部担当者間でスタートし、現在各モールへ広げて実施している、専門店の皆さまと当社スタッフによる協働プロジェクトをご紹介します。

心をつなげてめざすNo.1モール

イオンモール大日(大阪府)では、6名の専門店店長とモールスタッフ、さらに専門店の本部と当社の本部が参加するプロジェクトを立ち上げ、ギフトの取り組みをテーマに考えた結果、「ココロをつなごう」をキーワードにして徹底した意見交換を行いました。モールの強みや課題を見つめ直し、真のNo.1モールになるための目標を掲げ、2018年3月に全館で力を合わせた「サクラ祭り」を開催しました。



アイディアを出し合ってゾーンを活性化

イオンモール広島府中(広島県)では、2016年のリニューアルで誕生した巨大なキッズゾーン「Mama Toko TOWN」の魅力をさらに高めるために4名の専門店店長とプロジェクトチームを結成。活発な議論から生まれた提案を当社のエリア担当である中四国事業部がサポートし、キッズブランドの集合販売を実施し、一体感を出すために集合販売会場でのオリジナルTシャツの着用などを実現しました。



接客技術の向上をめざして

小売に精通するディベロッパーとして、モール全体でさまざまな接客技術向上に取り組んでいます。その一環として行う「接客ロールプレイングコンテスト」は、広範な業種におよぶ専門店を対象に日頃培った接客技術を競い合う大会で、接客に対する意識の向上とともに、優れた事例やノウハウを業種を超えて共有することで全体のレベルアップを図っています。



第7回イオン同友店ロールプレイングコンテスト全国大会 (2017年11月8日)

全国約8,000社、約30,000店のスタッフを対象に、接客技術を競う国内最大規模のコンテストを開催し、7つの地区大会を勝ち抜いた30名が参加しました。今回の大会には就職を控えた服飾関係の学校をご招待し、220名の学生に接客業の魅力や奥深さを肌で感じていただきました。

海外に広がる「おもてなし」の心

中国では、約30,000名の従業員が参加した予選を経て2017年8月に「イオンモール中国 第2回接客ロールプレイングコンテスト全国大会」を開催。成績優秀な従業員は日本のコンテストにも招待されました。カンボジアでも全館の接客研修やロールプレイングコンテストを通して全体的なサービスのレベルアップが顕著になっており、2020年にはアジア各国と提携したエキシビション大会の実現をめざしています。



魅力ある売場づくりのために

2017年度 イオン同友店会 VPコンテスト

イオン同友店会が主催するVP(ビジュアル・プレゼンテーション)コンテストは、より魅力的な売場づくりを実践するために、ディスプレイ部門とPOP部門で優秀作品を表彰するものです。2017年度からWebでのコンテスト運営を実現し、応募などの負担を軽減したほか、検索による上位事例の閲覧を可能にし、全国の専門店のさらなるレベルアップにつなげます。



【ディスプレイ部門大賞】
イノブ
イオンモール京都桂川【京都府】



【POP部門大賞】
チャイハネ
イオンモール大高【愛知県】

すべての人が生き生きと働く職場の実現

私たちは人権を尊重し、性別や国籍に関わりなく企業の発展に参画できる組織、またすべての従業員の能力が最大限に発揮できる職場を実現します。



イオンモールBSD CITY 事務所

多様な人材が活躍する企業へ

事業規模の拡大に伴って当社の従業員数は増加しており、グループ企業間の人事交流もいっそう活発になっています。さまざまな背景を持つ従業員がイオンピープルとして共通の価値観を持って働ける環境整備を推進しています。

従業員データ：連結（2018年2月末現在）

	2016年度	2017年度
従業員数 ※臨時雇用者は（ ）外数で記載	2,871名 (1,569名)	3,091名 (1,562名)

従業員データ：単体（2018年2月末現在）

	2016年度	2017年度
従業員数 ※臨時雇用者は（ ）外数で記載	1,596(1,299)名	1,682(1,335)名
男性	1,098(194)名	1,131(190)名
女性	498(1,105)名	551(1,145)名
新入社員数 (男性／女性)	85名 (32名／53名)	105名 (47名／58名)
管理職 うち女性管理職	884名 121名(13.7%)	959名 136名(14.2%)
役員 うち女性役員	15名 2名(13.3%)	17名 3名(17.6%)
育児休暇取得者数 (うち男性)	49名 (1名)	55名 (0名)

組織・人材のグローバル化

海外で展開する拠点については、当社の理念を深く理解するローカルスタッフによって、それぞれの地域に根ざした運営を行うことを基本方針としています。すでに中国では7モールで現地法人のスタッフが最高責任者のゼネラルマネージャーに就任しており、アセアンでもローカルスタッフの幹部職位への登用を積極的に進めています。

現地法人ローカルスタッフ人数（2018年2月末現在）

	2016年度	2017年度
合計	894名	1,040名
うち中国	527名	611名
うちアセアン	367名	429名

「企業主導型保育事業」としての保育施設を拡大

当社およびイオングループの商業施設に展開する「イオンゆめみらい保育園」は、イオングループおよび専門店従業員の0歳から就学前のお子さまを預かる事業所内保育施設です。子育てをしながら働く従業員の活躍支援を目的に、保育事業者との利用提携を含めて全国20ヶ所*で運営しています(2018年2月末現在)。2017年3月以降に開園したイオンモール新小松(石川県)、イオンモール徳島(徳島県)、イオンモール神戸南(兵庫県)、イオンモール松本(長野県)の「イオンゆめみらい保育園」は、いずれも内閣府が待機児童問題の解消と仕事と子育ての両立支援を目的に進める「企業主導型保育事業」に認定されています。

*イオングループに設置している「イオンゆめみらい保育園」6施設のほか、従業員の保育利用について一般の保育事業者と当社が提携した2施設を含みます。



「きらきら休暇制度」の導入

2017年2月に就業規則を改訂し、従来の「記念日休暇」に代わる制度として「きらきら休暇」を導入しました(年間2日まで取得可能)。家族に関する介護、育児、記念日、誕生日、学校あるいは地域行事、帰省など、取得理由の適用範囲を従来より拡大することで、社員がリフレッシュできる時間を大切にすることを奨励しています。

充実した人材育成制度

当社は、資格や職位など成長度合いに応じてさまざまな研修制度を設け、学び機会を数多く用意しています。イオンの基本理念である「お客さま第一」を実現するために価値観の共有・浸透を図る研修や、年次や職位ごとに商業ディベロッパーとして必要な知識やスキル向上を図る「実務研修」のほか、将来めざす職務につくための挑戦意欲のある人材が手を挙げて必要な知識や技能を習得する「イオンビジネススクール」など、多岐にわたる教育プログラムを実施しています。

海外トレーニー制度

今後も拠点を拡大する海外事業を担う人材を育成するために、中国・アセアンへの海外トレーニー派遣を実施しています。約1年間にわたる育成プログラムを通して、文化的・歴史的なバックグラウンドが異なる環境でのリーダーシップ開発や、海外拠点で求められる知識やスキルの獲得をめざします。

イオンモール労働組合より

短時間勤務のフレックス社員が新たに加入し、組合員は2,669名となりました(2018年2月28日現在)。全国のモールに小規模なオフィスが点在しているため、職場単位の分会で課題の吸い上げと解決を図り、全社的な制度づくりは中央で専門委員会などを設けて労使で協議しています。立

場も働き方もさまざまな職場環境で、組合活動を通したコミュニケーションや交流が日々の業務にも好影響をもたらすと考えています。

イオンモール労働組合
中央執行委員長
渡辺 健一



不断の安全追求から生まれる安心の獲得

私たちは関わりあるすべての人たちに対して、さまざまな安全を提供し、
どんなときも安心の評価をいただけるまちづくりを推進します。



防災訓練

まもろう 作戦

全国100カ所の
防災拠点

2012年にスタートした「イオンのecoプロジェクト」では自家発電設備を備えた防災拠点となる商業施設を
2020年度までに全国100カ所とする目標を掲げています。

当社が所有・運営するモールにおける現在の防災拠点 **28**

ハード面の強化

耐震性能の強化

近年にオープンしたモールでは、吹き抜け空間に軽量素材を採用するなど「国交省天井脱落対策に係る技術基準告示」に基づいた工事を行い、地震が発生した際の天井脱落防止対策を行っています。また、従来のガラス製に代わって透明不燃シートを採用した防煙垂壁を設置して破損や飛散がもたらす2次被害を抑制するなど、施設の安全性向上を図っています。



イオンモール徳島

水害対策

2017年3月にオープンしたイオンモール新小松(石川県)は、50年から100年に1度起こりうる大雨の被害を想定した「小松市洪水ハザードマップ」に基づき、想定される浸水レベルより高くモールを配置することで、建物内へ浸水の可能性を低減しています。

地域とともに防災態勢を強化

防災協定の締結

国内のモールの大半が、防災活動への協力などに関する協定を地方行政と締結しています。2017年4月にオープンしたイオンモール徳島(徳島県)では、徳島市と当社において、大規模災害などが徳島市内やモール周辺で発生した場合を想定し、同モールを一時避難先として開放するほか、保有するトイレなどの設備を活用いただく協定を締結しています。

各種団体と連携した合同防災訓練

すべてのモールで専門店従業員にご参加いただいて実践的な防災訓練を定期的
に実施しています。イオンモール広島祇園(広島県)では、2017年5月に6日間にわたって大規模な合同防災イベントを開催。自衛隊、消防、警察、国土交通省の特別車両展示や模擬災害体験、一時避難所(バルーンシェルター)の展張訓練などを行いました。



イオンモール広島祇園

全国防災キャラバンの実施

2017年3月から12月にかけて、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、イオン株式会社ならびに当社の主催で、全国約70拠点のイオングループ商業施設で「全国防災キャラバン」を開催しました。「そなえよつねに」を合言葉に、簡単担架作りと搬送体験、新聞紙で作る防災グッズなど、実践的なプログラムを実施しました。

被災時の復興拠点として

災害時の事業継続

モールによっては、大規模な停電が発生した際にガスインフラを利用した自家発電設備や非常用発電機によって防災センターやモール事務所、総合スーパーの食品売場などへの電源供給を確保できる態勢を整えています。また、断水・停電の状況下でも飲料水を利用できるよう、受水槽に緊急用の給水取り出し口を設置しています。



ユニバーサルデザイン

あらゆるお客さまに安心して快適にお過ごしいただけるよう、当社は2005年から本格的なユニバーサルデザインを導入してきました。また導入後も定期的にアンケートを行うなどしてお客さまからのご意見を伺い、ハード/ソフトの両面から継続的な改善に取り組んでいます。2017年9月にオープンしたイオンモール松本(長野県)では、国内の大型商業施設として初めて人工知能(AI)を搭載した対話型案内システムを導入。キャラクターに問
いかけることでお客さまの質問を認識し、最適なお案内をお答えしています。



地域から地球へ、環境保全の推進

私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。



EVステーション(イオンモール今治新都市)

へらそう 作戦

エネルギー使用量
50%削減

2012年にスタートした「イオンのecoプロジェクト」では2020年度に2010年度比でエネルギー使用量50%削減を目標に掲げています。

当社が所有・運営するモールにおける
2017年度の削減率 **46.0%**
(2010年度比)

つくろう 作戦

再生可能エネルギー
20万kW

同プロジェクトでは太陽光パネルの設置を拡大し、2020年度までに20万kWの創電能力構築をめざしています。

当社が所有・運営するモールにおける
現在の創電能力 **約14,397kW**

省エネルギー / 自然エネルギーの活用

LEDの採用

近年にオープンしたモールでは共用部のLED採用率100%を達成。専門店にも新規モールオープン時や既存店リニューアル時にLEDの採用を呼びかけており、光の色や明るさが選べるようになってきたこともあって着実に切り替えが進んでいます。また、屋外の電飾サインにも消費電力の少ないLED光源ユニットを採用しています。

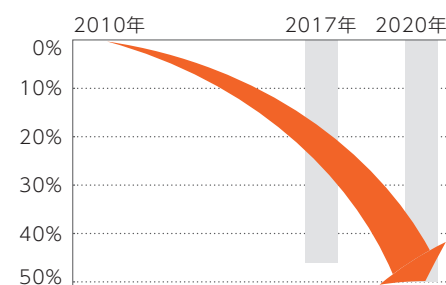
空調換気省エネシステムの導入

空調換気省エネシステムを導入し、高度なIT技術で施設全体のエネルギーを管理し、大幅な省エネルギーを実現。外気温度・湿度、室内温度・湿度、CO₂濃度を常時モニタリングし、電気設備、空調設備、給排水設備などをITでコントロール。エネルギー効率の最適化を図ります。

太陽光発電

他の商業施設に先駆けて太陽光発電システムを順次導入し、自然エネルギーを活用した創電を行っています。また、一部のモールでは災害などによる停電時にも太陽光パネルで発電した電力を活用できるシステムを採用しています。

2020年までの削減率目標 (2010年度比)



国内全モールにEV充電器を設置完了

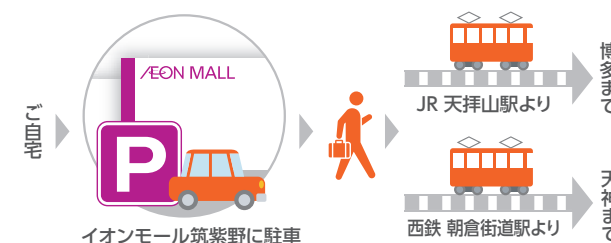
今年度、当社が管理・運営を行う国内全142モール*でEV (電気自動車) 充電器1,476基の設置を完了しました。EV車の普及が急速に進む中国においても、10モールに計461基を設置しています。また2017年11月に日本企業として初めて、企業による電気自動車の使用や環境整備促進をめざす国際的なビジネスイニシアチブ「EV100」へ正式参加しました。

*一部、プロパティ・マネジメント (建物の管理および運営をオーナーより受託) モールを除いています。



公共交通機関の利用促進

当社はお客さまが公共交通機関を利用してご来店いただける環境の整備に努めており、駅から徒歩圏内のモールの一部では、鉄道会社や交通局と連携して電車でご来店されたお客さまに特典を提供するなどの環境づくりを進めています。イオンモール筑紫野(福岡県)では、筑紫野市・福岡市・福岡県・JR九州・西鉄と協力してパーク&ライドの本格実施を2017年10月にスタート。平日に70台分の駐車スペースをご用意し、モールまでマイカーで来店された方が2路線の最寄駅から電車で博多や天神へ向かう乗り換えをサポートしています。



「ライトダウンキャンペーン2017」の実施

環境省が提唱する「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に参加し、2017年は夏至の6月21日およびクールアース・デーの7月7日、

20時から22時まで屋外照明の一部を消灯。全国イオングループの店舗や物流センターなど約1,700施設が参加して同時実施しました。また、このキャンペーンの一環として、イオンモール幕張新都心(千葉県)で環境負荷低減の観点から注目されるマグネシウム電池を用いて光る短冊やペンライトを作るワークショップを開催しました。



イオンモール千葉ニュータウン



イオンモール幕張新都心

クールシェア企画「涼も～」

イオングループが賛同する地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」への取り組みの一環として、昨年度に続き各モールで「涼も～」と称したクールシェア企画を実施しました。自習室の開放や水遊びなど、モールごとにさまざまなイベントを実施。イオンモールで楽しく快適な時間を過ごしていただく取り組みで、ご家庭のエアコン使用削減のきっかけをご提案しました。



イオンモール福岡

地域から地球へ、環境保全の推進

私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。



イオン ふるさとの森づくり 植樹祭(THE OUTLETS HIROSHIMA)

スマートイオンの展開

「イオンのecoプロジェクト」を実践するために2012年9月から取り組みを開始した「スマートイオン」は、従来の環境負荷の少ない施設づくりに加え、地域と協働で取り組む視点を取り入れた5つの基準(スマートエネルギー/電子マネー・ネットとの融合/交通環境/生物多様性・景観/防災・地域インフラ)を策定。現在、イオングループで10拠点(うち9モールが当社運営)のスマートイオンが誕生しています。



緑あふれるモールづくり

壁面緑化/植栽

モール壁面の緑化は景観を向上するだけでなく、建物の断熱性を高めることで夏季の館内における温度上昇を抑制し、冷房で使用するエネルギーの削減につながります。また、各モールの周辺には随所に緑豊かな植栽を施し、自然との調和を図るとともに、うるおいのある憩いの空間を演出しています。



イオン ふるさとの森づくり

1991年にマレーシアでスタートした「イオン ふるさとの森づくり」。新しいモールがオープンする際には、地域の自然環境に最も適した、その土地に自生する樹木をお客さまとともに植えています。2018年2月末現在、累計植樹本数は約1,160万本(グループ合計)に達しています。

廃棄物削減とリサイクル

モールから出る廃棄物の削減では、専門店で協力をいただいて、「何を、どこで、どれだけ廃棄しているか」を明らかにし、課題として意識づけることが重要です。各モールでは、廃棄物を基本18品目に分別したうえで品目ごとに計量するシステムを導入しています。専門店は各品目を計量した後、計量済みのシールを貼り、品目ごとの保管場所にまとめて廃棄します。分別されたごみのうち、可能なものについては極力リサイクルに回し、各品目ごとにリサイクル率を集計しています。2017年度のリサイクル率は86.1%でした。

資源回収・リサイクルの促進

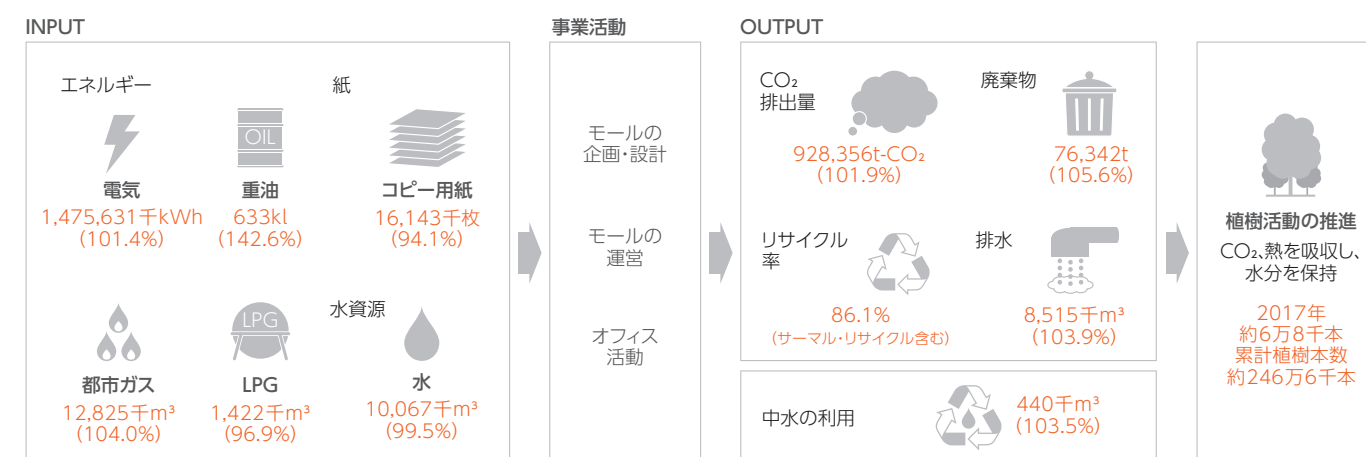
一部のモールでは、ご家庭の古新聞や古雑誌をお持ちいただいたお客さまに重量に応じたりサイクルポイントを発行して一定のポイントがたまるとイオン商品券と交換するシステムを導入し、古紙のリサイクルを促進しています。回収はモールに設置した専用のボックスで行うため、お買い物のついでにいつでもお持ちいただける点でもご好評をいただいています。また、お客さまのご家庭からペットボトルを回収し、WAONポイントを付与する取り組みも一部のモールで実施しています。



2017年度の廃棄物排出総量とリサイクル率

全社リサイクル率(サーマル・リサイクル含む) 86.1%			
項目別排出量とリサイクル率			
1	生ゴミ	16,660t	90.2%
2	段ボール	21,383t	100.0%
3	雑芥	21,293t	64.1%
4	廃プラスチック	3,365t	95.0%
5	ペットボトル	624t	100.0%
6	ビン	445t	96.4%
7	缶	647t	100.0%
8	発泡スチロール	123t	100.0%
9	廃油	1,919t	100.0%
10	紙類	2,794t	100.0%
11	粗大ゴミ	254t	87.0%
12	その他不燃ゴミ	1,300t	75.4%
13	蛍光灯	22t	80.3%
14	乾電池	10t	82.4%
15	ワリバシ	114t	92.5%
16	廃アルカリ・剥離剤	27t	59.1%
17	汚泥	5,361t	86.0%
18	廃エンジンオイル	2t	—

2017年度インプット/アウトプット(国内77モール)



※対象は共有部分、イオン、テナントも含むモール全体。ただし廃棄物およびリサイクル率はテナントとイオンモール事務所が対象、コピー用紙はイオンモール事務所のみが対象となります。 ※ () 内は対前年比

イオンモール データ集 各ショッピングモールの2018年度データ（2018年2月現在）

関東(つづき)

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	太陽光発電 パネル容量(kW)	空調換気 省エネシステム	普通EV 充電器	急速EV 充電器
37. イオンモール千葉ニュータウン	2006年4月	79,000	4,000	14,000	2,444	2007年3月	5	2,120	17	—	○	12	1
38. イオンモール幕張新都心	2013年12月	128,000	7,300	50,000	5,295	2007年1月	18	237	43	1,798	○	35	4
39. イオンモール木更津	2014年10月	84,000	4,000	61,570	2,407	2015年6月	3	1,464	11	1,334	○	12	2
40. イオンモール津田沼	2003年9月	27,000	1,300	1,549	2,076	2006年7月	2	—	9	—	—	8	1
41. イオンモール八千代緑が丘	2005年3月	42,000	2,500	11,535	2,210	2006年7月	3	468	—	50	—	11	1
42. イオンモール柏	2006年5月	30,000	2,000	7,896	1,625	2006年8月	2	26	—	12	—	6	1
43. イオンモール銚子	2010年3月	31,000	3,200	35,000	1,069	2010年3月	2	1,044	11	20	○	9	1
44. イオンモール船橋	2012年4月	36,000	2,300	17,346	2,033	2012年3月	2	40	20	100	—	8	2
45. ゆみーる鎌取ショッピングセンター	2000年3月	28,000	1,400	4,461	1,598	2007年1月	3	—	—	—	○	—	—
46. イオンマリニピア専門館	2003年10月	11,000	300	—	349	2007年1月	1	—	4	—	—	—	—
47. イオンモールむさし村山	2006年11月	78,000	4,000	45,000	3,448	2006年9月	4	671	49	—	○	12	1
48. イオンモール日の出	2007年11月	64,000	3,650	58,000	2,701	2007年11月	4	964	16	100	○	8	1
49. イオンモール多摩平の森	2014年11月	24,000	980	600	1,945	2014年9月	3	129	—	—	○	1	1
50. イオンモール東久留米	2013年4月	31,000	1,600	20,000	1,736	2013年4月	4	442	9	10	—	14	—
51. イオン板橋ショッピングセンター	2000年5月	35,000	900	—	930	2007年9月	1	324	—	6	—	11	1
52. イオンモール大和	2001年12月	35,000	1,900	20,000	1,951	2006年4月	4	2,361	—	—	—	12	—
53. イオン海老名ショッピングセンター	1993年11月	32,000	1,500	—	985	1994年4月	1	—	16	—	—	6	—
54. イオン相模原ショッピングセンター	1993年8月	27,000	1,500	34,001	1,572	1992年4月	3	46	—	—	—	7	1
55. イオン秦野ショッピングセンター	1995年11月	28,000	1,900	6,625	1,444	2006年8月	3	1,674	—	50	—	1	1

中部

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	太陽光発電 パネル容量(kW)	空調換気 省エネシステム	普通EV 充電器	急速EV 充電器
56. イオンモール新発田	2005年4月	33,000	1,650	14,210	996	2006年7月	3	96	10	—	—	11	1
57. イオンモール新潟南	2007年10月	51,000	4,000	30,396	2,498	2008年7月	6	1,010	14	—	—	11	1
58. イオンモール高岡	2002年9月	62,000	3,600	44,000	1,971	2007年12月	3	2,025	—	—	○	9	1
59. イオンモールとなみ	2015年7月	32,000	1,700	7,000	1,044	2015年6月	2	149	—	—	—	12	2
60. イオンモールかほく	2008年10月	62,000	3,300	29,391	1,361	2008年10月	2	176	12	73	—	11	1
61. イオンモール新小松	2017年3月	63,000	3,400	18,371	2,234	2017年3月	3	—	16	—	—	12	1
62. イオン御経塚ショッピングセンター	1998年3月	33,000	1,700	—	801	2012年3月	3	82	—	—	—	8	1
63. イオンモール甲府昭和	2011年3月	45,000	3,300	20,000	2,832	2011年2月	4	611	9	—	—	3	2
64. イオンモール佐久平	1999年4月	25,000	2,000	19,247	1,001	2011年9月	2	461	23	—	—	13	1
65. イオンモール松本	2017年9月	49,000	2,300	6,758	2,540	2008年2月	4	—	11	—	—	2	2
66. イオンモール大垣	2007年4月	43,000	2,500	29,253	1,425	2007年3月	3	841	10	50	○	11	1
67. イオンモール各務原	2007年7月	77,000	5,700	62,643	4,088	2007年7月	3	863	20	80	—	9	1
68. イオンモール浜松志都呂	2004年8月	65,000	3,500	38,000	2,466	2011年12月	5	402	58	91	—	9	1
69. イオンモール富士宮	2001年12月	40,000	2,500	24,231	1,766	2006年9月	3	1,146	45	—	—	11	1
70. イオンモール浜松市野	2005年6月	63,000	4,000	19,299	3,174	2006年9月	3	790 ⁶⁷ (77リットル×716名)	—	50	—	11	1
71. イオンモール岡崎	2000年9月	80,000	4,300	48,050	3,627	2007年3月	9	1,105	42	—	—	13	—
72. イオンモール東浦	2001年7月	55,000	5,000	25,000	2,175	2006年7月	7	291	—	—	—	13	—
73. イオンモール木曽川	2004年6月	66,000	4,400	15,000	3,035	2014年9月	2	2,270	16	—	—	8	1
74. イオンモール新瑞橋	2010年3月	38,000	1,700	5,000	1,900	2010年2月	6	138	22	69	—	9	—
75. イオンモール名古屋茶屋	2014年6月	75,000	4,100	18,956	2,450	2012年1月	3	407	8	266	○	11	2
76. イオンモール常滑	2015年12月	67,700	4,000	12,000	2,357	2015年11月	3	1,007	20	—	—	12	2
77. イオンモール長久手	2016年12月	59,000	2,600	8,134	3,302	2016年12月	7	—	13	362	—	12	2
78. イオンモール名古屋みなと	1999年11月	44,000	3,000	36,484	1,235	2006年10月	2	91	—	—	—	11	1
79. イオンモール熱田	2003年7月	47,000	3,700	12,331	2,821	2006年7月	4	365	—	—	—	11	1

中部(つづき)

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	太陽光発電 パネル容量(kW)	空調換気 省エネシステム	普通EV 充電器	急速EV 充電器
80. イオンモール扶桑	2003年8月	34,000	2,800	17,887	1,446	2006年7月	1	256	31	50	○	11	1
81. イオンモールナゴヤドーム前	2006年3月	48,000	2,800	12,736	2,887	2009年5月	3	—	16	—	—	11	1
82. イオンモール大高	2008年3月	65,000	4,000	25,000	4,074	2008年2月	2	—	12	50	—	21	1
83. イオン春日井ショッピングセンター	1999年3月	33,000	1,590	—	940	2009年7月	1	89	20	—	○	1	1
84. mozo wondercity	2009年4月	101,000	5,000	20,000	4,575	—	3	533	14	—	—	1	1

近畿

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	太陽光発電 パネル容量(kW)	空調換気 省エネシステム	普通EV 充電器	急速EV 充電器
85. イオンモール鈴鹿	1996年11月	70,000	4,200	36,000	2,731	2006年8月	4	1,712	16	—	—	10	1
86. イオンモール東員	2013年11月	58,000	2,300	15,000	2,308	2013年10月	3	174	15	322	—	7	2
87. イオンモール四日市北	2001年1月	42,000	3,000	38,478	1,376	2008年8月	1	797	26	50	—	1	1
88. イオンモール明和	2001年7月	34,000	3,100	39,467	1,088	2012年3月	2	—	52	50	—	10	—
89. イオンモール桑名	2003年8月	38,000	4,000	—	1,402	2004年3月	2	—	—	—	—	11	—
90. イオン津ショッピングセンター	1978年9月	34,000	1,200	141	832	2006年12月	2	—	—	—	—	—	—
91. イオンモール草津	2008年11月	78,000	4,300	20,000	3,044	2008年10月	5	1,324	48	200	○	11	2
92. イオン近江八幡ショッピングセンター	1991年4月	35,000	2,100	—	863	1996年3月	4	169	—	—	—	10	—
93. イオンモール京都五条	2004年3月	36,000	1,600	11,000	2,140	2010年9月	4	338	—	—	—	9	1
94. イオンモールKYOTO	2010年6月	50,000	1,100	—	2,940	2011年9月	5	423	—	—	○	1	1
95. イオンモール京都桂川	2014年10月	77,000	3,100	10,553	4,444	2014年10月	5	899	23	339	—	13	4
96. イオンモール久御山	1999年6月	39,000	3,000	22,191	1,683	2011年9月	2	678	7	30	—	1	1
97. イオンモール高の原	2007年5月	44,000	2,000	17,158	2,533	2011年9月 京都 2011年3月 奈良	3	168	15	100	—	—	1
98. イオン洛南ショッピングセンター	1998年7月	26,000	1,800	8,233	1,229	2011年9月	2	172	—	—	—	11	1
99. イオンモール堺北花田	2004年10月	72,000	2,800	6,000	2,708	2015年1月	5	699	6	50	—	11	1
100. イオンモールりんくう泉南	2004年11月	76,000	4,300	66,000	3,410	2005年9月	5	1,591	—	83	○	11	2
101. イオンモール鶴見緑地	2006年11月	53,000	2,200	12,000	2,334	2010年6月	5	130	—	—	—	10	1
102. イオンモール四條畷	2015年10月	75,000	4,300	20,000	3,803	2015年10月	6	723	13	815	—	12	2
103. イオンモール堺鉄砲町	2016年3月	56,000	2,600	10,000	2,611	2016年3月	4	59	13	473	○	10	2
104. イオンモール日根野	1995年4月	29,787	2,000	32,781	1,219	2011年4月	2	356	42	—	—	10	1
105. イオンモール大日	2006年9月	56,000	2,400	15,416	3,651	2008年8月	1	892	16	14	—	11	2
106. イオンモール大阪ドームシティ	2013年5月	34,000	670	4,200	1,660	2014年1月	5	—	16	54	—	4	—
107. イオンモール茨木	2001年1月	46,000	2,400	—	2,675	2008年9月	4	151	36	—	—	11	1
108. イオンSENRITO専門館	2017年4月	9,100	400	—	534	—	—	—	—	—	—	—	—
109. イオンモール伊丹	2002年10月	57,000	2,800	30,000	3,243	2012年2月	4	294	—	102	—	8	1
110. イオンモール神戸北	2006年11月	55,000	4,000	56,000	2,745	2006年10月	7	892	40	—	—	10	1
111. イオンモール神戸南	2017年6月	39,000	1,400	3,000	3,106	2017年9月	3	55	14	—	—	2	2
112. イオンモール姫路リバーシティ	1993年11月	36,000	2,600	11,817	1,607	2013年3月	2	556	32	—	—	11	1
113. イオンモール猪名川	1998年4月	21,000	2,000	38,818	1,303	2012年2月	2	75	9	—	—	1	1
114. イオンモール姫路大津	2004年12月	34,000	2,600	16,151	1,705	2012年2月	2	460	35	100	—	11	1
115. イオンモール加西北条	2008年11月	33,000	2,100	11,864	1,122	2012年2月	4	381	14	55	—	8	1
116. イオンモール伊丹昆陽	2011年3月	48,000	2,400	10,300	2,605	2012年2月	6	284	23	1,160	—	14	1
117. イオン明石ショッピングセンター	1997年10月	58,000	3,500	—	1,406	2012年2月	2	332	—	—	—	8	—
118. 神戸ハーバーランドumie	2013年4月	85,000	3,000	—	4,571	—	4	—	—	—	—	—	2
119. イオンモール橿原	2004年4月	80,000	5,000	25,000	3,390	2010年11月	5	5,317	15	59	○	9	1
120. イオンモール大和郡山	2010年3月	67,000	4,200	20,000	2,860	2010年3月	4	939	11	—	○	8	1
121. イオンモール奈良登美ヶ丘	2006年7月	31,000	1,560	15,118	1,342	2007年6月	2	323	3	—	—	11	1
122. イオンモール和歌山	2014年3月	69,000	3,500	20,000	3,041	2014年3月	5	1,058	17	454	—	12	4

イオンモール データ集 各ショッピングモールの2018年度データ（2018年2月現在）

中国・四国

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	太陽光発電 パネル容量(kW)	空調換気 省エネシステム	普通EV 充電器	急速EV 充電器
123. イオンモール日吉津	1999年3月	47,000	2,900	25,486	1,475	2006年8月	2	8,086	11	100	—	1	1
124. イオンモール鳥取北	2000年4月	48,000	3,100	9,000	1,130	2007年3月	2	513	10	—	—	17	1
125. イオンモール出雲	2016年5月	32,000	2,000	9,000	1,013	2009年1月	2	278	12	50	—	11	2
126. イオン松江ショッピングセンター	1994年5月	32,000	1,800	—	1,089	1997年10月	2	369	20	—	—	10	—
127. イオンモール倉敷	1999年9月	83,000	4,700	70,000	2,661	2006年8月	6	8,667	29	20	—	11	4
128. イオンモール岡山	2014年12月	92,000	2,500	7,898	6,610	2014年11月	5	28	12	306	—	9	2
129. イオンモール津山	1996年12月	30,000	2,000	18,668	945	1998年3月	2	790	10	—	—	1	1
130. イオンモール広島府中	2004年3月	76,698	5,000	64,000	4,345	2007年4月	4	123	7	519	—	12	2
131. イオンモール広島祇園	2009年4月	50,000	2,800	20,000	2,113	2009年9月	6	426	14	68	—	8	1
132. 広島段原ショッピングセンター	2011年9月	24,000	800	—	571	2012年10月	1	—	—	—	—	—	—
133. イオンモール徳島	2017年4月	50,000	3,100	4,300	2,564	2016年1月	5	46	5	—	—	11	2
134. イオンモール高松	2007年4月	47,000	3,000	12,500	1,135	2007年6月	2	263	16	50	—	9	1
135. イオンモール綾川	2008年7月	57,000	4,000	49,044	1,757	2008年6月	3	509	16	140	—	8	1
136. イオンモール新居浜	2001年6月	67,000	3,500	35,000	1,563	2006年8月	5	1,068	10	30	—	11	1
137. イオンモール今治新都市	2016年4月	54,000	2,900	10,000	1,382	2017年7月	3	531	34	—	—	12	2
138. イオンモール高知	2000年12月	57,000	2,700	23,000	2,145	2007年9月	6	1,379	—	109	○	1	1

九州・沖縄

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	太陽光発電 パネル容量(kW)	空調換気 省エネシステム	普通EV 充電器	急速EV 充電器
139. イオンモール福岡	2004年6月	90,000	5,000	14,000	2,799	2012年4月	6	1,659	21	—	—	6	1
140. イオンモール直方	2005年4月	58,000	3,400	39,000	2,083	2006年8月	4	155	20	—	○	9	1
141. イオンモール筑紫野	2008年12月	80,000	3,800	20,000	3,098	2009年4月	6	2,939	17	110	○	11	1
142. イオンモール大牟田	2011年3月	57,000	4,800	20,000	1,786	2011年9月	3	1,107	16	590	—	11	—
143. イオンモール福津	2012年4月	61,000	3,500	27,000	2,639	2012年3月	4	1,444	25	—	○	12	—
144. イオンモール八幡東	2006年11月	44,341	2,200	19,242	1,690	2007年8月	2	713	10	204	—	2	—
145. イオンモール宇城	1997年11月	63,000	3,300	50,000	785	2007年11月	2	32	—	1,409	—	10	—
146. イオンモール熊本	2005年10月	73,000	4,800	27,000	2,190	2006年10月	3	1,965	—	—	—	12	—
147. イオンモール三光	1996年12月	40,000	2,500	36,000	803	2006年2月	3	1,005	—	—	—	1	1
148. イオンモール宮崎	2005年5月	70,000	4,000	56,000	2,317	2006年9月	6	682	12	50	○	11	—
149. イオンモール都城駅前	2008年12月	28,000	1,700	8,000	1,060	2008年11月	3	566	—	90	—	9	1
150. イオンモール沖縄ライカム	2015年4月	78,000	4,000	26,000	3,315	—	6	595	—	259	—	14	4

中国

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	LED	太陽光発電 (kW)	自動制御 システム (電気・空調)	冷凍機 インバータ制御	カーテンウォール 遮光・遮熱フィルム	屋上緑化	中水利用 (緑化帯水やり)	電気自動車充電 ステーション
151. イオンモール北京国際商城	2008年11月	53,000	3,000	8,000	約1,760	○	—	—	—	○	—	—	—
152. イオンモール北京豊台	2015年9月	58,000	2,000	3,969	約1,140	○	65	○	○	○	—	○	16
153. イオンモール天津TEDA	2010年10月	55,000	2,500	8,000	約720	○	—	○	—	○	—	○	—
154. イオンモール天津中北	2012年4月	62,000	3,700	10,000	約2,090	○	—	○	—	○	—	○	—
155. イオンモール天津梅江	2014年1月	63,000	2,400	10,000	約1,360	○	—	○	○	○	—	○	—
156. イオンモール天津津南	2017年10月	70,000	2,600	6,000	約2,360	○	85	○	○	○	—	○	75
157. イオンモール河北燕郊	2016年11月	70,000	3,000	6,000	約2,500	○	85	○	○	○	—	○	98
158. イオンモール蘇州呉中	2014年4月	75,000	3,100	6,000	約3,300	○	50	○	○	○	○	—	—
159. イオンモール蘇州園區湖東	2015年5月	75,000	3,000	3,300	約2,920	○	43	○	○	○	○	○	8
160. イオンモール蘇州新区	2016年1月	74,000	3,200	3,817	約3,960	○	60	○	○	○	○	○	132
161. イオンモール南通星湖	2017年12月	77,000	3,000	6,000	約2,800	○	360	○	○	○	○	—	60
162. イオンモール杭州良渚新城	2015年11月	66,000	2,500	4,000	約1,020	○	30	○	○	○	○	○	15

中国(つづき)

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	LED	太陽光発電 (kW)	自動制御 システム (電気・空調)	冷凍機 インバータ制御	カーテンウォール 遮光・遮熱フィルム	屋上緑化	中水利用 (緑化帯水やり)	電気自動車充電 ステーション
163. イオンモール武漢金銀潭	2014年12月	74,000	2,900	3,000	約3,210	○	—	○	○	—	—	—	—
164. イオンモール武漢金橋	2017年12月	54,700	1,700	2,500	約2,000	○	—	○	—	○	○	—	—
165. イオンモール武漢經開	2015年12月	105,000	4,000	5,000	約2,372	○	520	○	○	—	—	○	20
166. イオンモール広州番禺広場	2015年12月	65,000	1,700	3,500	約2,350	○	—	—	—	○	—	—	17
167. イオンモール佛山大瀝	2017年12月	69,000	2,700	4,000	約1,370	○	190	○	○	—	—	—	20

ベトナム

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	登録身障者 専用駐車台数	LED	太陽光発電 (kW)	高効率空調 システム	人感センサー 照明発停制御	エスカレーター の自動運転制御	せせらぎ の川	汚水浄化 設備
168. イオンモール タンフーセラドン	2014年1月	49,900	バイク 4,000 車 500	10,000	約2,830	—	○	—	—	—	○	—	○
169. イオンモール ビンタン	2016年7月	59,000	バイク 約4,000 車 約1,500	10,000	約3,000	17	○	320	○	○	○	—	○
170. イオンモール ビンズオンキャナリー	2014年11月	46,000	バイク 約6,000 車 約1,000	10,000	約2,000	—	○	—	—	—	○	—	○
171. イオンモール ロンビエン	2015年10月	72,000	バイク 約10,000 車 約1,000	11,300	約2,200	8	○	—	○	○	○	○	○

カンボジア

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	登録身障者 専用駐車台数	LED	太陽光発電 (kW)	高効率空調 システム	人感センサー 照明発停制御	エスカレーター の自動運転制御	せせらぎ の川	汚水浄化 設備
172. イオンモール プノンペン	2014年6月	66,300	バイク 約1,600 車 約2,300	10,000	約2,500	9	○	225	○	○	○	○	○

インドネシア

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	登録身障者 専用駐車台数	LED	太陽光発電 (kW)	高効率空調 システム	人感センサー 照明発停制御	エスカレーター の自動運転制御	せせらぎ の川	汚水浄化 設備
173. イオンモールBSD CITY	2015年5月	77,000	バイク 約2,300 車 約2,100	20,000	約3,000	—	○	24	—	○	○	—	○
174. イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ	2017年9月	63,000	バイク 約1,400 車 約3,000	8,000	約2,500	20	○	510	○	○	○	○	○

OPA

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	専門店数
175. 秋田オーパ	2017年10月	11,000	3,000	2,800	19,800	58
176. 水戸オーパ	2017年3月	12,500	1,500	3,500	25,500	58
177. 高崎オーパ	2017年10月	26,000	7,000	7,400	42,000	161
178. 聖蹟桜ヶ丘オーパ	1999年9月	16,100	400	9,000	23,400	60
179. 新百合丘オーパ	1997年11月	12,100	100	5,000	22,290	94
180. 藤沢オーパ	1996年3月	9,000	800	2,100	19,000	64
181. 河原町オーパ	1998年11月	9,800	—	2,700	18,900	107
182. 梅田オーパ	2013年4月	2,200	—	—	3,300	20
183. 心斎橋オーパ 心斎橋オーパきれい館	1994年11月 1998年8月	10,500 2,300	— —	2,800 1,000	27,000 4,900	85 11
184. 三宮オーパ2	2017年2月	11,700	1,700	4,700	17,600	47
185. キャナルシティオーパ	1996年4月	13,300	2,400	—	26,000	115
186. ビブレージンレイクタウン	2008年9月	2,900	8,300	—	4,300	23
187. 横浜ビブレ	1978年10月	17,800	100	6,000	44,800	137
188. ワールドポーターズビブレ	1999年9月	18,100	1,100	20,000	35,300	93
189. 名古屋ワンダーシティビブレ	2009年4月	2,700	5,100	—	3,600	13
190. 北大路ビブレ	1995年3月	22,180	500	17,600	76,200	94
191. 三宮ビブレ	1969年11月	5,700	—	1,500	10,800	35
192. 明石ビブレ	1997年10月	16,400	700	11,700	53,200	70
193. 天神ビブレ	1976年11月	9,770	1,100	2,400	23,900	84
194. 仙台フォーラス	1984年11月	14,600	4,500	4,300	32,000	117
195. 金沢フォーラス	2006年11月	26,100	4,200	100,300	60,300	197

イオンモール株式会社では、環境保全活動や社会地域貢献活動のコストを把握し、CSR経営の指標とし、運用しています。

環境保全活動として、投資と費用合計で「102億14百万円」、2016年度比99.4%となりました。

2017年度の投資では、環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入しています。11モールに空調換気省エネシステムを導入したことにより、大幅に電気使用量を削減しています。

省エネルギー・省資源の投資額は2016年度と比較して減少していますが、これは2016年度より電気自動車充電設備の大規模設置を開始した影響であり、2017年度も計画的に電気自動車充電器設置を拡大しました。

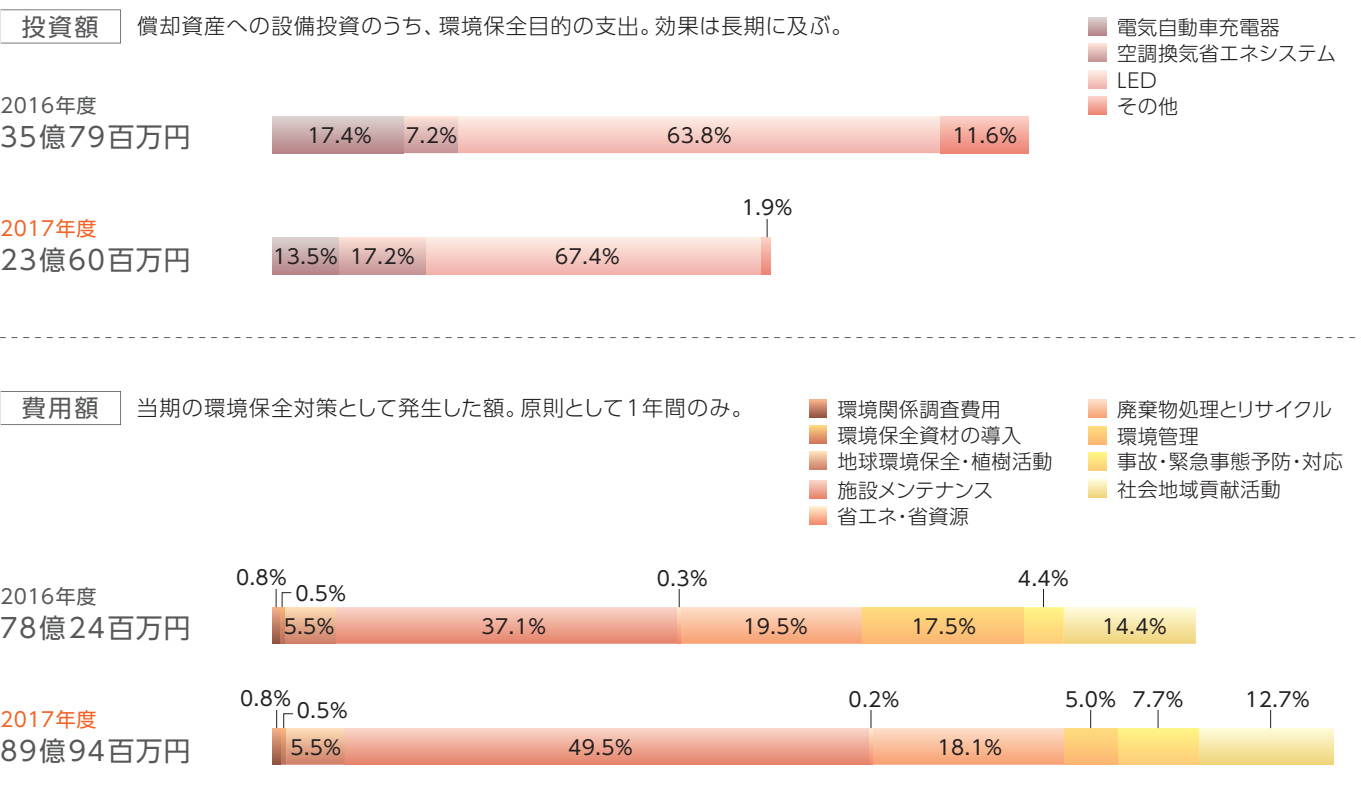
社会地域貢献活動では、投資と費用合計で「11億39百万円」となり、2016年度比101.1%となりました。

公益財団法人イオンワンパーセントクラブの助成金事業を受けて日本全国で地域貢献活動を開催しました。そして、イオングループが設置拡大を進める事業所内保育施設「イオンゆめみらい保育園」の展開においては、前年度末において20園となりました。今後もグループ企業の従業員をはじめ、より多くの方々の仕事と育児の両立支援、待機児童解消の一助となる取り組みを進めていきます。

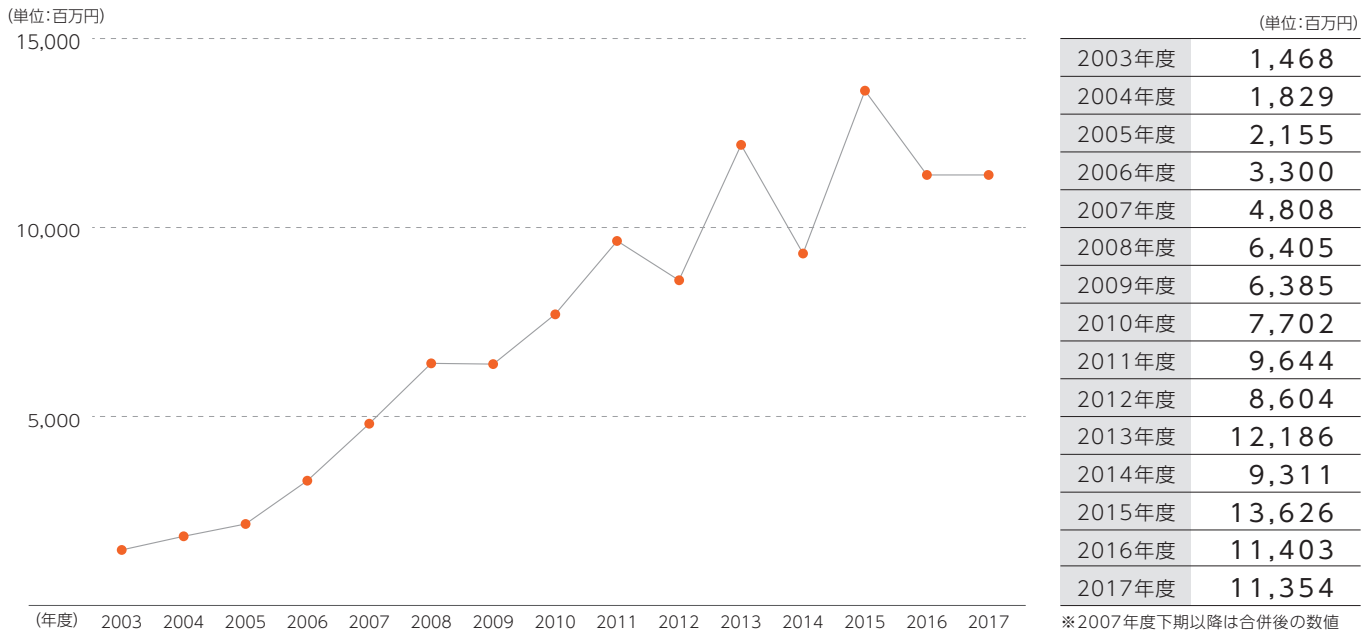
CSR会計全体しては、2016年度比99.6%の計上となりました。

■ 環境保全コストの主な内訳

	投 資			費 用			総合計		
	2016年度	2017年度	前年比	2016年度	2017年度	前年比	2016年度	2017年度	前年比
環境関係調査費用	—	—	—	60	69	115.0%	60	69	115.0%
環境保全資材の導入	—	—	—	42	49	116.7%	42	49	116.7%
地球環境保全・植樹活動	—	—	—	432	493	114.1%	432	493	114.1%
施設メンテナンス	—	—	—	2,899	4,447	153.4%	2,899	4,447	153.4%
省エネ・省資源	3,579	2,360	65.9%	20	20	100.0%	3,598	2,381	66.2%
電気自動車充電器	622	319	51.3%	—	—	—	622	319	51.3%
空調換気省エネシステム	259	405	156.4%	—	—	—	259	405	156.4%
LED	2,283	1,590	69.6%	—	—	—	2,283	1,590	69.6%
その他	415	45	10.8%	20	20	100.0%	435	65	14.9%
廃棄物処理とリサイクル	—	—	—	1,531	1,629	106.4%	1,531	1,629	106.4%
環境管理	—	—	—	1,366	452	33.1%	1,366	452	33.1%
事故・緊急事態予防・対応	—	—	—	346	691	199.7%	346	691	199.7%
環境保全活動 合計	3,579	2,360	65.9%	6,697	7,854	117.3%	10,275	10,214	99.4%
社会地域貢献活動	—	—	—	1,127	1,139	101.1%	1,127	1,139	101.1%
総合計	3,579	2,360	65.9%	7,824	8,994	115.0%	11,403	11,354	99.6%



投資+費用総額の年度別推移



期間:2017年3月1日～2018年2月28日 範囲:イオンモール(株)ISO14001適用範囲内とする

①複合コスト 環境目的以外のコストと結合している場合についても、原則として全額計上しています。

②人件費 イオンモール従業員の人件費は原則として計上していません。ただし「施設メンテナンス」「廃棄物処理とリサイクル」は人件費を計上しています。

③投資 期中に発生した環境負荷低減の関連機器および施設への投資額で計上しています。(リース契約の場合は、費用に計上)導入後、移管もしくは変動したものも導入時の金額が判明している場合は投資として計上しています。(氷蓄熱システムなど)

④減価償却費 減価償却費は計上していません。

立教大学経営学部 教授

高岡 美佳 氏

【プロフィール】

青山学院大学経営学部卒。東京大学大学院経済学研究科で博士号取得。大阪市立大学助教授、立教大学経営学部助教授などを経て2009年4月より現職。主な研究テーマは、流通論、CSRとブランド価値、小売経営と消費者行動。著書に『サステナブル・ライフスタイルナビゲーション』（日科技連出版社、2007年）など。



■ 評価できること

■イオンモールのCSRレポートに第三者意見を寄せるのは今回で4回目となります。本レポートは「地域とともに『暮らしの未来』をつくるLife Design Developer」を経営理念とするイオンモールの多角的な活動を、ISO26000をふまえた5つの柱に沿って報告しています。今回のレポートより、個別の取り組みとSDGs（持続可能な開発目標）との関わりも示され、グローバルスタンダードに沿った報告書となっています。また、多様なステークホルダーの生の声も数多く掲載されており、CSRコミュニケーションの点でも優れた報告書となっています。

■トップメッセージにあるように、これからの商業施設には、リアルな体験を通したふれあいや思い出が生まれるコミュニティとしての役割が強く求められます。2016年度における国内B to C（消費者向け）のEC市場規模は15兆1,358億円となり前年比で9.9%増加しました。今後は、Eコマースにはない価値の訴求が重要となってくるでしょう。特集1（p.12-p.15）では、イオンモールが今年度より「人生の素敵な思い出をつくる場所」としての「ハピネスモール」の活動を本格化したことを紹介しています。「楽都・まつもとライブ」の開催、健康を増進するモールウォーキング活動、落語やオペラ鑑賞会、地産地消の推進や地域PRイベントなど、いずれも地域の歴史や特性に合わせた取り組みとなっている点が特徴です。お客様にモールに足を運んでいただく上記の取り組みは、イオンモールの本来の事業活動にプラスであるだけでなく、地域社会への継続的な貢献という点から見ても非常に重要です。地域と共同で価値を創出し、持続的な成長を目指すCSV（Creating Shared Value）の観点から活動を推進していることを高く評価したいと思います。

■最も高く評価したいのは、「人と環境に配慮したモールづくり」が国内においても海外においても着実に進展していることです。CSR TOPICS（p.10-p.11）にあるように、2017年11月、イオンモールの2つの施設が人間の健康と快適性の評価である「WELL認証」の適合性事前検証を実施しました。また、従来より温室効果ガスの排出削減に積極的に取り組んでおり、2017年には京都市と大阪府から優良事業者として認定されました。その他、近年国内でオープンしたモールでは共用部のLED採用

率100%を達成、自社が管理・運営する全モールに電気自動車充電器の設置を完了するなど、環境保全面で確かな実績をあげています。同様に、インドネシアや中国など海外で展開するモールにおいても環境・安全への配慮を徹底しています（p.21）。2018年4月現在、イオンモールは日本国内、中国、アセアンに約180拠点を展開しています。このような大企業が「モールは人と環境に配慮したものであるべきだ」という価値観を持ってモールの企画・建設・管理・運営に携わることは、世界のモール事業者に大きな影響を与えることでしょう。ESG評価に優れた企業を選別して算出する株価指数構成銘柄にも複数選定されたリーダーとして、今後も業界を牽引していただきたいと考えます。

今年度のイオンモールのCSR活動においては、昨年度に引き続き、ダイバーシティの推進について着実な進展が見られます（p.30）。女性管理職数・割合とともにさらに増加して「多様な人材が活躍する企業」へと進んでおり、海外の現地法人ローカルスタッフ人数の増加や中国の7つのモールでは現地法人スタッフが最高責任者を務めるなど「組織・人材のグローバル化」が見て取れます。企業主導型保育事業としての保育施設の拡充、「きらきら休暇制度」の導入など、多様な人材が働きやすい環境への整備も進んでいます。企業が持続的に成長するためには、組織を活性化させる多様な人材の活用が不可欠です。人材のダイバーシティやワークライフバランスに関するイオンモールの真摯な取り組み姿勢を高く評価したいと思います。

■ 要望したいこと

■昨年度も要望しましたが、イオンモールは、環境に配慮したモールづくりでは国内外でトップレベルに位置していますし、地域貢献や働く人々への配慮に関しても高いレベルに到達しています。次年度はぜひ、レポートにアクションプランを掲載していただきたいと思います。「5つの柱」でまとめているCSR項目のうち、何をどこまで実施するのか。それぞれについて目標を設定し、実際に行った活動の概要を示すとともに目標達成の度合いを確認するというPDCAサイクルを回すことは、イオンモールのCSR活動のさらなる推進に役立つはずです。



「ライトダウンキャンペーン（P35参照）」の一環として環境負荷の低いマグネシウム電池を使用したペンライトを組み立てて夜空に絵を描くワークショップを開催しました。（イオンモール幕張新都心）

最後までお読みいただきましてありがとうございました。
当社のCSR活動に関する情報はウェブサイトにも順次掲載してまいります。
どうぞご参照ください。

イオンモール CSR

検索



イオンモール株式会社

〒261-8539

千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1

TEL:043-212-6348 FAX:043-212-6779

<http://www.aeonmall.com>

イオンモール株式会社は、
環境マネジメントシステム
の国際規格「ISO14001」の
認証取得企業です。

